

漕 魂

31号

2009年

長崎大学医学部漕艇部

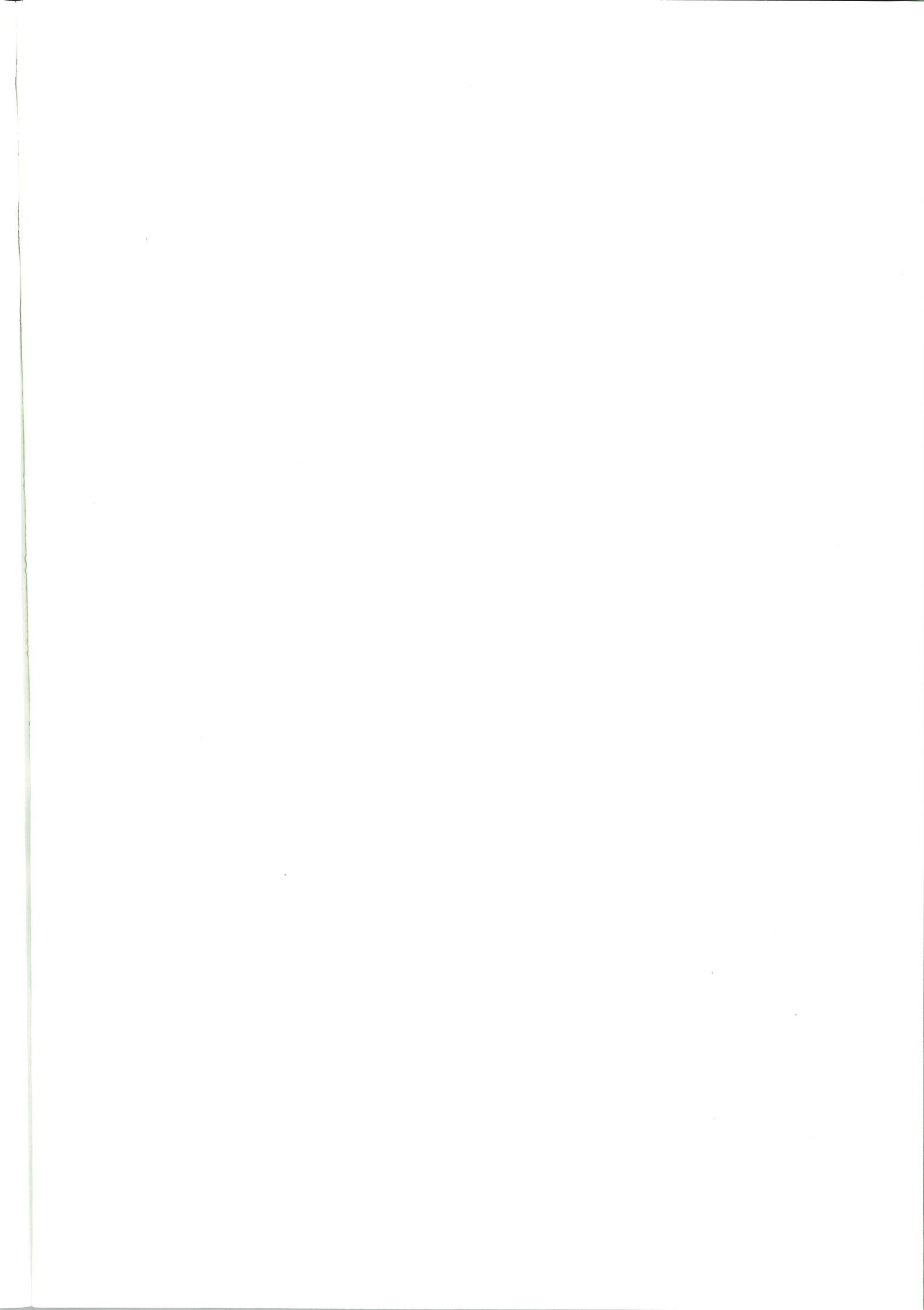


潜 魂

31号

2009年

長崎大学医学部潜艇部



卷頭言

我等が六歳を契る

絢爛の其の宴は実に過ぎ易し

然れども見ずや先達の嚆矢、

古りて猶燦然として輝き

我等が矜持、久遠に逸せざるを

友達よ、然に明日の運命を嘆かんよりは、

此の虞美露々丘に集いて、

去りては再び帰らざる

若き日の感激を謳わん。

漕魂の歌

作詞：今里雅之

作曲：岩谷 怜

一. 街を離れ ひたすらに

子々川の海へ 滑り出す

心地良い風 潮の薫り

キャッチロー キャッチロー

にじんだ汗が 流れだす

パドル行こう さあ行こう

二. 水を切り 走る崎陽の

シュルルと放つ 快音は

朝もやの海に 似合っている

キャッチロー キャッチロー

心待つのは 安らぎの

オールメン イージーオール

オールメン イージーオール

三. スタート前の 緊張が

競り合う 気概と足蹴りに

ピッチを上げる コックスの声

キャッチロー キャッチロー

燃え尽きんと 漕ぎ続け

ああ喜びの トップゴール

琵琶湖周航の歌

作詞・作曲：小口太郎

我は海の子 さすらいの

旅にしあれば しみじみと

昇る狭霧や さざ波の

滋賀の都よ いざさらば

松が緑に 砂白き

雄松が里の 処女子は

赤い椿の 森陰に

はかない恋に 泣くとかや

波のまにまに 漂えば

赤い泊火 懐かしみ

行方定めぬ 波枕

今日は今津か 長浜か

瑠璃の花園 珊瑚の宮

古い伝えの 竹生島

仏の御手に 抱かれて

眠れ処女子 安らげく

目次

〈寄稿〉

中桶 了太 先生……………5

〈活動報告〉

昨年度主将挨拶……………6

新主将挨拶……………7

新入生紹介……………8

二〇〇九年度試合結果報告……………10

二〇〇九年度コックス記……………12

二〇〇九年度Aクルー練習メニュー……………25

部員雑感……………25

〈OB会〉

二〇〇八年度OB総会議題一覧……………39

平成二十一年度長崎大学医学漕艇部OB会収支報告……………40

長崎大学医学漕艇部OB会会則……………41

長崎大学医学漕艇部OB会会員名簿……………42

長崎大学医学漕艇部OB会役員名簿……………51

長崎大学医学漕艇部OB会協賛会員名簿……………52

〈長崎大学医学部漕艇部現役部員名簿〉……………53

〈広告〉

〈ホームページ紹介、OBメーリングリストのご案内〉……………59

〈編集後記〉

……………60



鵬 翼



蓋 世



崎 陽



普 賢



集合写真



インカレ

（ご寄稿）

長崎大学医学部漕艇部

平成十七年卒 中桶 了太

私がボート部に在籍した昭和六十三年から平成七年は、学外からコーチを迎えるなど大きな変化を経験した時代でした。そのころの思い出をつらつらと書いてみます。

私が、長崎大学に入学したのは昭和六十三年、世間はバブルと言われていた頃で、キャプテンは旭先生、練習も夕方の乗艇が中心でした。授業が終わると部車に乗り込み、文教キャンパスから子々川の合宿所（長崎大学臨海研修所）へ。日が暮れ真つ暗になってもコックスは懐中電灯手に各ポジションのオールを順番に照らしながら練習を続け、練習後は市内に戻り宴会でした。夏合宿は、朝、昼、夕の三回乗艇、炎天下真つ黒になりながら練習でした。初出場の九州朝日レガッタ、県漕では最下位争いでしたが、西医体では一つ勝ち上がることができ、ボートの楽しさを知ることができました。

その年の秋に、OB会発足十周年記念事業で、現在の場所にボート専用の艇庫が完成。東京大学の全日本四連覇時代に対校クルーとして活躍された氏家祐二氏がコーチに就任され、指導を受けることとなりました。リギング

の調整方法、シートあわせ、メンテナンスはもとより、クラブの体制作り、年間を通した練習スケジュールの立て方など、私たちに全日本レベルの知識をもたらしてくれました。道具も進化しオールも木製からコンセプト社のカーボン製へ、艇も木製からカーボン製に。練習も水面が穏やかになる朝風や夕風の時間帯で実施。練習方法もロング漕が増え、新型エルゴマシンの導入など大きく様変わりしました。詳しい内容については当時の部誌を参照して頂きたい。

その成果は、黒木キャプテンの下で西医体初優勝として結びつきました。翌年は、竹下キャプテンで全クルーが初戦を突破し、対校も接戦の結果三位と二年連続の入賞。

氏家コーチが転勤で去られた後、コーチとしてやってきたのはカナダ人のアレックス氏でした。日本に来たばかりで日本語は通じず、辞書を使いながらの指導でした。日本とカナダの考え方の違いにとまどいながら、練習方法などお互いに試行錯誤しながら練習を続けていきました。西医体三位、そして戸田の全日本大学選手権では敗者復活経由でしたが、ひとつ勝ち上がり、準決勝に進出したのです。

現役時代良き指導者に出会えたこと、これらの基礎を創った諸先輩方に感謝しています。

現在も新たなコーチを迎えて、頑張っていると聞きます。コーチと共により良いボート部となることをお祈りしています。

《活動報告》

◆昨年度主将挨拶◆

四年 北村 健二

昨シーズン漕艇部主将を務めました北村健二と申します。この場をお借りしまして昨シーズンを振り返りたいと思います。大会ごとの反省は各コックスが行いますのでここでは年間を通しての反省を行いたいと思います。

今シーズンにおいて対抗クルーが西医体において結果を残すことができませんでした。先生方の期待に応えることができず大変申し訳ありませんでした。

まず僕らが幹部学年になったときに前シーズンの反省をしつかりと行い、①怪我予防のために練習前後のストレッチの改善と強化、②モーターボートを使ったビデオ撮影や外部からの指導、③ミーティングの強化、この三つを掲げてオフシーズンに入りました。練習におきましてはランのタイム測定し記録したり、部内エルゴ大会を設けるなど競争意識を常に持てるように工夫致しました。またここ最近の九山におきましては他大学よりも練習不足が否めないと思いましたが、いつものより早い一月半ばにはクルーを組み土日だけでも乗艇できるようにしましたが天候やテストな

どにより思うように練習をすることはできませんでした。三月のはじめには僕自身の肋骨骨折により当初より組んでいたクルーを解体しなければならなくなり九山まで十分な練習をすることができませんでした。九山前の大事な時期に僕自身のけがにより部全体に迷惑をかけたことを大変申し訳なく思っております。

そして今年部の変化で最も大きかったのは四月中旬に出会った渋谷コーチの存在であります。渋谷コーチは以前日本の代表チームでコーチをされていた方でインカレで勝つことを目標にやっていたということを条件にコーチを引き受けてくださいました。そのことにより今までコックスを中心に苦勞して作っていた練習メニューはコーチに作って頂くようになり、また自分たちで試行錯誤しながらどう漕ぐのが早いのか考えることからコーチによりモーターボートにより指導して頂けるので自分たちはいかにコーチから与えられる課題を考えこなしていくかということに変わりました。その効果はすぐにはあらわれコーチに来て頂ける度に艇速は速くなっていき、みんなの艇の感じ方が変わっていききました。五月には九州朝日レガッタ、六月には県漕がありました。西医体・インカレに照準を合わせるためそれらの大会はトレーニングの一貫として挑みました。そのなかで自分たちの課題を見つけて修正するということとを夏まで続けました。それでも西医体・インカレにおいて結果を残すことができませんでした。西医体では準決勝

でストレッチャーが壊れるというハプニングが起きました
が何が起こつても動じない勝てる力を持つことができな
ったことには変わりありません。またインカレでは歯がた
たなかつたというのが正直なところで年間を通して恵まれ
た環境で漕ぎ続けている人に勝つのは大変であると感しま
した。ただコーチのもとで今までやってきた練習は間違い
なかつたと思いますし、この練習をこれから年間通して続
けていけば来年はかなり期待ができると確信をしております。

今後昨シーズンの反省をしつかりと行い、改めるところ
は改め新幹部のもとで一致団結し取り組んでもらえたらと
思います。引退した僕らも何らかの形で部に貢献できるよ
うにしたいと考えております。

昨シーズンもOBの先生方によって多大なるご支援・ご
協力をしていただき誠にありがとうございます。先生方
への感謝の気持ちを忘れず、これからも部員一同頑張つて
参りますので今後とも温かく見守ってくださいますようお
願い申し上げます。

◆新主将挨拶◆

三年 水野 貴基

二〇〇九年九月より長崎大学医学部漕艇部の主将を務め
させていたたくこととなりました水野貴基と申します。昨
シーズンはOBの先輩方の多くのご支援のもと、例年の九
州朝日レガッタや西医体に加えて、数年ぶりのインカレ出
場や部のクルーのみでの新潟国体出場という現役部員にと
つて新しい経験をさせていただいたシーズンでした。西医
体においては一般シエルフォア七位、新人フォア優勝、総
合五位で、新人部門では数年ぶりの西医体優勝という結果
をおさめることもできました。しかし対校艇においては多
くの期待の声を頂いていたにもかかわらず、良い結果を報
告することができず大変悔しく感じております。今シーズ
ンは昨シーズンまでの反省を活かし、よりレベルアップを
はかつて対校艇での優勝をご報告できるよう努めてまいり
たいと思います。

今後結果を出すための反省点といたしまして、まず今シ
ーズンはシーズンインの時期を月上旬からとすることと
しました。ここ数年は三月から八月というシーズン期間が
定着しておりますが、全体での本格的な練習開始時期を
早めることで夏に向けてよりよい調整をしていくことが可
能であると考えております。また十月からのオフはシーズ

ンに向けての基礎力向上と体力アップのための期間とし、今まで以上にシーズンにつなげることに意識を置いて練習を行っております。

二つ目としまして、例年以上に試合経験を積むことができるようにしたいと考えております。今回のインカレ出場の際に特に強く感じたことですが、普段の子々川での練習では他大学の艇をみるということができず、どうしてもレースの経験が他大学に比して少ないということがあります。九州圏内の近くの大学との練習試合などを積極的に行い、部のレベルをもっと底上げしていきたいと考えております。今オフの十一月には九州インカレという大会に初めて出場させていただきましたが、その大会では準優勝をおさめることができ、出場したクルーやそれを応援した部員にとつてその大会での成果はこれからに向けてのよい弾みとなったと思います。

今後も新しいことを柔軟に取り入れつつ、西医体優勝とインカレで結果を出すことを目標に部員一同精一杯努力をしていきと思います。また今まで以上に掲示板やOBメーリングリストを用いて部の情報発信をしまいたいと思っておりますので、今後も部への温かいご声援を頂ければと思います。以上乱文ではありますが、新主将挨拶とさせていただきます。

◇新入生紹介◇

鴨打 周

鴨打周は、誰よりも早くボート部に入部した新入部員である。入部当初は頼りない感じがして体も細く、本当に大丈夫かと思つたほどである。しかし、そんな心配とは裏腹に彼はみるみる成長していったのである。体の骨格もがっちりし、エルゴのタイムも着々と上げていき、西医体では決勝には行けなかつたものの、順位決定戦ではトップゴールの立役者にもなつた。

しかし、彼の成長はこれだけでは終わらず、別の面でも異彩な才能を発揮していくこととなる。最初はおとなしいように見えた彼も、今では飲み会で場を盛り上げるようになり、また林杯のバレーボールの時での活躍には目を見張るものがあった。まだまだ彼の才能というのは数え切れないほどあり、残念ながらここでは書き尽くせないほどである…。

ともかく、彼が近い将来このボート部を引っ張っていくのは間違いない。期待しているぞ、鴨打周!!

(文責 大井)

菊田 龍

ワインを嗜む若者。とりあえずガタイがいい。そして四月からのエルゴのタイムの伸びが半端じゃない。期待せずにはいられません。とかいつてるうちに彼は西医新人戦優勝してしまいました。

この男計り知れません。

やっぱりこれからの活躍に期待せずにはいられません。

(文責 朝野)

竹田 一博

「こんなはずでは……先輩なら誰もがこう思うであろう。入部当初、いたって好青年なイメージがあった。だが彼は次第に本性をあらわしてきた。新歓にはエ〇本をもつてくるし、お酒を飲めば、何かが乗り移ったかのようにハイテンションになる。数々の疑惑すら持たれている。

だが誤解しないでほしい。彼はやるときはやる男だ。ポートの練習は一生懸命で、実に積極的である。エルゴのタイムもだんだんのびてきている。エルゴを愛する日もそう遠くはない。

彼は今後、長大ポート部を大好きな邪馬台国のごとく発展させてくれるであろう。期待してるぞ！

(文責 上瀧)

田尻 昌士

友延さんの母校、福大大濠高校出身。二年生部員の中でも異彩を放つT下と意気投合し(十酒の勢い)入部した異色の人材である。

彼愛用のゼムの中はアニソンのオンパレードで(たまにエロゲのテーマソング)、裸王と大きく書かれたお気に入りTシャツを着て秋葉原に赴き、意気揚々と同人誌を漁りに行く……まあ、そうですね、そんなユニークな人物です。

そんな、どちらかというところをガンガンに効かせた部屋でエロゲなネットサーフィンをする方が大好きな彼ですが、シーズン中は熱心に練習に打ち込み、見事8kgの減量に成功。メタボチックだった肉体も大分引き締まってきた。

しかし夏休みの中にいったいどれだけリバウンドしてしまったのだろうか、現在部員一同のもっぱらの心配事である。オフシーズンもしっかり絞り込んでいこうな！

(文責 三瀧)

二〇〇九年度試合結果報告

●九山

レースNo.1 男子対校戦決勝

3	佐賀大学 (雷光)	三分二五秒六一	一位
6	熊本大学 (龍神)	三分二七秒五四	二位
4	長崎大学 (鵬翼)	三分三七秒六八	三位
5	宮崎大学 (日向)	三分四五秒五四	四位
2	産業医科大学 (煌牙)	三分四七秒二九	五位

レースNo.2 男子4+一般決勝

2	佐賀大学 (浮立)	三分三七秒五三	一位
1	熊本大学 (秀魔波)	三分四一秒三一	二位
3	熊本大学 (百虎)	三分四一秒九三	三位
6	佐賀大学 (葉隠)	三分四二秒一四	四位
5	宮崎大学 (不死鳥)	三分四二秒四九	五位
4	長崎大学 (蓋世)	三分四八秒一六	六位

レースNo.3 男子1+決勝

3	長崎大学 (海燕)	四分〇九秒九七	一位
5	熊本大学 (斎藤)	四分一〇秒五八	二位
6	熊本大学 (北村)	四分三七秒四三	三位

●九朝

レースNo.1 男子4+準決勝

1	熊本大学 (MARS)	三分四八秒〇八	一位
2	山口大学 (鳴鳳)	三分五〇秒〇三	二位
3	熊本大学 (ユウスゲ)	三分五〇秒三四	三位
4	長崎大学 (鵬翼)	三分五四秒六四	四位
5	熊本大学 B	四分十九秒二四	五位

レースNo.2 一般ナックル準決勝

1	松山大学 B	一分五六秒二一	一位
5	新菱	二分〇四秒一〇	二位
3	長崎大学 (普賢)	二分〇五秒四五	三位
4	産業医科大学	二分十四秒八四	四位
5	長崎大学 (崎陽)	二分三一秒〇〇	五位
6	産業医科大学	三分〇二秒一一	六位

●西医体

レースNo.1 一般男子舵手付きフォア順位決定戦

5	長崎大学 (鵬翼)	三分二〇秒六七	一位
2	熊本大学 (龍神)	三分二二秒六八	二位

6	岡山大学 (天風)	三分二七秒六二	三位
4	浜松医科大学 (SENIOR)	三分二九秒〇二	四位
3	宮崎大学 (天照)	三分三三秒九五	五位
1	浜松医科大学 (瀛)	三分三四秒二九	六位

レースNo.2 一般男子舵手付きフォア敗者復活戦

1	佐賀大学 (SENIOR)	三分二九秒二四	一位
2	浜松医科大学 (瀛)	三分三〇秒三八	二位
3	熊本大学 (白虎)	三分三〇秒七五	三位
4	長崎大学 (蓋世)	三分三七秒二七	四位
5	産業医科大学 (英駿)	三分三八秒九六	五位
6	久留米 (篠山)	三分五四秒四七	六位

レースNo.3 新人男子舵手付きフォア決勝

1	長崎大学 (崎陽)	三分三〇秒六四	一位
2	京都大学 (紅駿)	三分三二秒三八	二位
3	佐賀大学 (蒼龍)	三分三三秒一四	三位
4	佐賀大学 (葉隠)	三分三三秒七二	四位
5	熊本大学 (こちやる丸)	三分三五秒八九	五位
6	滋賀医科大学 (滋賀医科大学)	三分四〇秒八四	六位

レースNo.4 新人男子舵手付きフォア順位決定戦

1	長崎大学 (普賢)	三分四四秒三九	一位
2	金沢大学 (コグンジャー)	三分四五秒五七	二位
3	熊本大学 (神威)	三分四六秒四七	三位
4	金沢大学 (CR舟物語)	三分四八秒六一	四位
5	大阪大学 (NOTE-GOD)	三分五〇秒五〇	五位
6	金沢大学 (雷電)	四分〇八秒二六	六位

●インカレ

レースNo.1 男子舵手付きフォア

4	京都大学	七分〇二秒五四	一位
3	大阪大学	七分〇五秒四〇	二位
5	山梨大学医学部	七分十一秒八二	三位
2	長崎大学医学部	七分十八秒七五	四位

●国体

レースNo.1 男子舵手付きフオア

1	愛媛県	愛媛選抜	五〇〇m	一分三六秒十六
			一〇〇〇m	三分十三秒八五
2	福島県	曾津磴漕会	五〇〇m	一分三六秒八一
			一〇〇〇m	三分十四秒九四
3	福岡県	福岡県選抜	五〇〇m	一分四一秒二三
			一〇〇〇m	三分二四秒一七
4	長崎県	長崎大学医学部	五〇〇m	一分三九秒八二
			一〇〇〇m	三分二六秒六五

〓二〇〇九年度COX記〓

Aクルー記

東 祥嗣

九山

今回は今までにない展開だった。

去年から、九山が三月に行われるようになり、テスト期間が三月まで引き延ばされる長崎大学にとって不利な状況だが、それだけではなかった。

キャプテンの試合二週前に、肋骨骨折によりドクターストップ、キャプテンの代漕として入った部員が試合一週前に、諸事情によるリタイアで、漕手が一人不足してしまつた。五年で、今年はCOXをしていた上木さんをお願いをし、どうにかクルーとして試合に出ることとなつた。

五人で練習できたのは一週間。低レートでのロングはまつたくできず、どうにかして試合に出た、という感覚だった。

対校も去年から予選があるようになった。予選は宮崎大学と福岡大学の三艇レース。スタート直後、ばたついて、対校の漕とはまったくいえないうレースだったが、どうにか宮崎大学を二艇身ほど離しゴール。練習量があまりにも少

なすぎたと実感。

決勝

予選の反省として、まず落ち着いて漕ぐことを確認。スタートから、熊本、佐賀に出られ、終始三位を走る。予選よりは落ち着いているが、前の二艇に比べ、レースレートが低く、ドライブ中の艇の加速が見られない。結局三位でゴール。これから夏に向け、立て直さなければならぬと感じた。

九朝

コーチがつき初めてのレース。試合一週前にキャプテン北村が戻り、全員サイドチェンジする。練習はSR20をひたすら漕ぎ、試合二日前にスタート練習をする。初めて尽くしのレースだ。

試合前に十五km。レースでは五〇〇mをSR24、残り五〇〇mをSR26で全力で漕ぐ。サイドチェンジした状態ではあまりにも漕げないので、もとに戻したが、ハイレートで練習していなかったので少々不安が残る。

予選

やはりSR24では勝負できない。SR20のレンジの三分の二ほどで、スタートで一艇置いていかれる。やばいと思っただが、五〇〇m過ぎ、SR26に上げ、切れ込んだ

佐賀医科と山大の羅漢を抜き三位でゴール。

一〇〇〇mを全力を出し切ることがうまくできず、苦いレースとなる。

準決勝

予選よりレートを二ほど上げるも、試合前には十五km。夏の試合以外はすべて練習。という教えを守り、レースを行う。

スタートからSR26で行くも、前の三艇から離されていく。やはりレンジが短く、SR20の時とさほど変わらない艇速。完全に艇を無視して漕いでいく。五〇〇m過ぎ、SR28で追い上げるも、一艇身ほどしか追い上げられず四位。前半がうまく走れないのが敗因。

県漕

またまたキャプテン北村はおり、代わりに中原さんが乗ることとなる。

県漕でも、試合前後で各十五km。まだ練習ではハイレートはほとんどしていない。

県漕では珍しく、ローキーズという長崎大学医学部以外のチームが出ていた。彼ら曰く、長崎のボート関係者で、活躍している人を集めてきたそうだ。確かにインカレ優勝、二位、全日本優勝フォアの○○などがある。

今回の課題はスタートでSR40を出す。実際、スター

トはSR40で走り、約二〇〇mはローキーズと並んでいたが、そのあとじりじり離され、二艇身離されまけることとなる。まだ、低レートの漕ぎをハイレートではできないことが敗因。これからハイレートを漕いでなれていこうと思う。

西医体

今年はどうして試合前に調子を崩すのか……。山口遠征にいつて合わないリギング、違うオール等で自分らの漕ぎを崩す。ここまです不安な試合は初めてだった。

ただ、去年に比べ、練習中は、崩す前はスピードは一〇〇mで約十秒ほど速かったので、崩れていても戦えると思っていた。

予選

滋賀医科との一騎打ち。スタート、よくはないがSR39で滋賀医科に半艇身ほどです。このまま引き離そうとするが、五〇〇mでレートが上がらない。練習量からしてばてることは考えられない。逆にじりじりと迫られ、六〇〇m付近で抜かれ、半艇身つけられ二位でゴール。試合後、整調の水野が熱中症となり、記憶がとんでいたことが発覚。まともなレースが未だにできない。

準決勝

予選タイム三位。スパートもきちつときめれば何も問題ないと思っていた。

しかし、スタート、バウのストレッチャーが吹き飛ぶ。ストレッチャーの木が腐っており、ねじが吹き飛んだ。スタート地点から一〇〇m以内だったので再レースとなった。どうにかして応急処置をして試合には出れるようになった。

再レースは十五分後。しかし、完全に冷静さを欠いていた。

再レース、スタートでバウサイに曲がる。ストレッチャーを気にしてか、バウに普段の力強さがない。一艇だけ五位から一艇半遅れる。六位からのスタート。やばい、あせる気持ちを抑えつつ、まず、三〇〇mで五位の浜松の二番艇を抜き、六〇〇m地点で四位の龍神を抜く。決勝に行ければ問題はない。どうにか三位の佐賀を抜きたいと思うも、残り二〇〇mで三位の佐賀をつめたが〇・五秒縮めることができなかった。

順位決定

スタートから一艇出て、熊本の龍神につめられることなくゴールする。

艇が腐敗していることに気づかず、再レースで漕手の動揺に気づかずレースをしてしまったことが今回の結果を生んだと思う。非常に残念な大会となった。

インカレ

初の二〇〇mレース。試合に出ている選手も今まで見たことがない人ばかり。練習日、戸田に浮かんでいる艇の数が尋常じゃない！軽く一〇〇艇はいるのではないのか、と思った。戸田では、どの艇も低レートを漕いでいた。僕らも練習では常に低レート。低レートは案外早く、一：五八〇二：〇三／五〇〇mで走る。東大のエイトの低レートと並んで走ることができた。自分らがやってきたことは間違っていないと感じた。

予選

横に突風が吹くレースとなった。スタート前、バウだけで方向を正していたが、間に合わず、スタートで曲げてしまった。法政大学、岡山大学がスタートで飛び出し、そのあとを中央大が追い、少し離れて僕ら、そのあとを防衛大が追う展開となる。

すべてのレースに共通するのだが、ハイレートになるとレンジが極端に短くなる。そのため低レートのわりにハイレートでは艇速が出ない。

じりじり離され、一五〇〇m付近でどれだけ離れたかかわからなくなる。中央大が落ちてきたのを感じ、スパークかけるも、少しだけ縮め、ゴール。五艇中四位だった。

インカレには西医体優勝の滋賀医科も出場しており、予選タイムでは三秒ほど僕らがよかった。

敗復

京大、阪大、山梨医科大、僕らの四艇レース。スタートはうまくいくも、京大、阪大に離される、三位だったが、五〇〇m過ぎ、急にキャッチレンジが短くなり、自分らで崩し、予選タイムで勝っていた山梨医科大にさえ抜かれる。そのままゴール。

今回、低いピッチの漕ぎをハイレートにつなげることの難しさを感じた。それは長年漕いで、冬も継続してトレーニングすることで身につくものだと思う。コーチがいるので、来年はその点は改善されると思う。

Bクルー記

丹下 寛也

今年のBクルーはシーズン開幕序盤から上瀧の入院、コーチの登場、解体そして再結成などなど波乱に満ちたシーズンでした。

自分としてもこのポジションの難しさや無力さを痛感した半年でした。

ポジションの関係で僕はオールを持ちませんが、その代わりに要求される漕手へのアプローチの仕方、船をまっすぐ進める技術、クルーメンバー間のコミュニケーション、

船の進み方をいかに感じ、どう伝えるのかetc.どれをとつても今の僕に十分にこなせることは何一つありません。

これを書いている今、もうすぐオフシーズンが始まりますが、こなすべき課題は山のようにあります。

そんな僕とシーズンを最後まで走り抜けてくれた漕手の皆さんにまず、有難うございますと言わせてください。

九朝（予選）

S 大井3川口2朝野B中原

実はこの大会のちよつと前に上瀧が肺炎で入院してしまい、急遽朝野を半ば強引な形でBクルーに持ってきた。今思えばこういった形で彼をこのクルーに持ってきてしまったのが彼の部活に対する考え方に変化をもたらししてしまったのかもしれない。朝野本当にスマン。

また上瀧の入院と時を同じくして濫谷さんが当ボート部のコーチに就任した。この頃から練習は一気にハードなものとなり、漕手には相当なストレスがかかり始めたように思う。

予選は熊大（医）の二番艇、山大の一番艇、九工大とぶつかることになった。

天気は雨で川の流れもかなりあり、艇つけからすでにテンパる。

山大は昨年のインカレ四位入賞とのことなので二上がりなので予選通過は熊大との争いが予想された。

スタートから山大が一步抜け出し終止独走。蓋世は熊大と序盤こそ一艇身半あけられるものの、スタートRage36五本からスタートスパートRage30715本終わってコンスタントRage30入つてからの五〇〇過ぎたあたりから徐々に熊大ににじり寄り、じわじわと追いつき行けるか…というところで僕のライダーが未熟なあまりコースを蛇行したりロスで最後キャンパス差ほどで二秒差熊大に逃げ切られてしまう。自分ダメダメだわ…。

（敗 復）

鵬翼、熊本学園大、蓋世で二艇上がり。天気は相変わらず良くない。

やはり艇つけからテンパってしまい漕手に安心してスタートを迎えさせることが出来なかった。

この様なことは今回に限らず、漕手に漕ぐこと以外に余計な心配をさせてしまうことが今シーズンを通して多々あった。

漕手が漕ぐことだけに集中できるように試合前配慮するという心がけが欠けていたとしか言い様がない。自分は漕手をまだ全然理解できてないと思った。

そのせいでスタートからうわずってしまい、Rageばかり上がるだけで艇速につながる漕ぎに全くなかった。他二艇とも勝負にならず予選敗退。この後コーチからの指示でSとBを交代する。

県 総（予選）

九朝が終わって程なくして中原さんがAクルーに持ちあがり、その代わり北村さんがBクルー調整となった。今後のエルゴの結果や乗艇の調子次第ではクルー間の交代は頻繁に行うかもしれないとの事。

今年の県総はシシレーではなく、県のボート関係者のクルーを含む五艇の出走だった。うちのクルーは予選で県ボクルーとの二艇レースとなり、決勝は予選タイム順で上から四艇という形だった。なんでもインカレ優勝〇〇と調整に団体常連が二名もいるらしい…。

コンディションは悪くない。地元だけあって若干リラックスでき、船がまっすぐ進むか若干不安だがなんとか発艇前にステッキボードに付ける事ができた。

スタートRage34スタートスパート32コンスタント28-30と打ち合わせていざスタート…三本くらいでもう相手の船と一艇身近く付いてしまった。何だよコレ…。

全く歯が立たず二〇秒近く離されてゴール。後で聞いた話このクルーその場で組んだ即席クルーだったらしい。その後決勝でも全体のピッチを二上げて見るも結局県ポの優勝。Aクルーとも十秒以上離されてしまう。

S

県総後三番川口先輩の肋骨骨折が判明し、しばらくは乗艇出来ないためにエルゴと筋トレ中心のトレーニングにな

る。

練習もうまくいかず解剖も忙しくなってきたため、皆ストレスフルな雰囲気が出始める。

この時期にコーチとうまくコミュニケーションをとれず、貰ったメニューについてもロクに話し合わずに漕手の気持ちや汲み取ることもせず、頭ごなしにメニューをやれやれとしか言えなかった僕自身に大きな責任がある。

結果として個人のモチベーションは下がり、クルーは一旦解散。七月の時点では大井朝野でダブルスカル、北村先輩はシングルで練習することとなった。僕はコーチとモーターボートに乗って自分の仕事が何か勉強することに。

しかし大井が形上でダブルの練習中に沈。その際足を切ってしまった、七月末までダブルも練習できなくなる。この時点で西医体はどう出るかも不透明で皆も練習に集中できなくなっているのを強く感じた。

僕自身の創意工夫が足りず、このきつい時期に皆をフォローしたり出来ないで六、七月を過ごさせてしまったため西医体直前で再結成した時も五人で集中して取り組めず、気持ちの面でのばらつきを抱えたまま練習不足で西医体を迎えてしまったのが今回の最大の反省だと思う。

西医体

予選…また白虎（熊本）と同じ組。出る大会ごとに白虎と当たっている気がする。

とりあえず白虎をに勝てば予選は上がれるだろうというこ
とで、先に先に仕掛けて生きたいなと思う。

スタート (Rate36) ローイング (Rate32) は悪くなかつ
た、といつてもすでに浜松は一艇身近く大阪FORISTANに
半艇身、白虎とはキャンバス差くらい。

コンスタントRate30くらいでいきたかつたが下がらない
でRate32。というか下げるとこの漕ぎだと艇速も一緒に落
ちてしまうからもうこれでいくしかない。

四〇〇くらいまで白虎に半艇身までに食らい付きたい所
だがじりじり離されて一艇身差が付く。浜松、大阪には悔
しいけど追いつけそうにない。白虎だけでも抜きたいが打
ち合わせどおり落ちそうな中盤から細かく足蹴りを入れる
が思うようにいかず、コンスタントの一本ずつでじりじり
と離される。

最後は白虎に二艇身ちよいで四位予選敗退。

敗 復

またも白虎と同じ組。どんだけ縁があるんだよと。二
上がりて浜松の二番艇：瀛との去年の対校クルーと聞く
SENIORもいて、なかなか厳しい戦いになりそうだ。

スタートから浜松の二艇は抜け出す。ローイングの伸び
から見ても認めたくないが、もう勝負は決まってしまった
といつても言い過ぎではない。スタートローイングは予選
と同じ。白虎とはやはりローイング終わって半艇身。全く

同じ展開だ。

結局中盤以降もは予選と同じで結果も七秒差で僕らの負
けで四位。

この競技は十回並べて十回勝つか十回負けるかのスポ
ーツだと思う。

練習した量こそが船を進める最大の要因だし、今回はそ
れが足りなかった。

Cクルー記

CクルーCOX記

シーズンの開始前

人数の関係からコックスをして欲しいということで、白
羽の矢が立った。当初は別の五年生がするという話を聞い
ており、そもそもポリクリなどで忙しいだろうということ
で、ボートに乗る気は全くなかったが、キャプテンに何度
も電話をもらい、会ってやってくれということなので、好
きなクルー作りをすることを宣言して引き受けた。
そこで、以下の二点を前提とした。

一、減量をしない。

シーズン開始は、身長一七八cm／体重七二kgと、明らか
にコックス向きではなかった。当然コックスなら少しでも

減量してローヤーの負担を減らすべきだが、ローヤーには一切減量はしないことを伝えた。なぜならば、ポリクリなどの忙しさから、減量が返ってストレスになり、それ以外のこと疎かになりそうであつたこと（三年生のときコックスとして六二kgまで減量した時は立ちくらみをよく起こして困つた）、そして、減量に時間を割くなら、ローヤーの練習を増やしてそれに付き合つた方がいいと考えたからである。

あえてローヤーに宣言することで、初期からローヤーを追い込めたと思う。

二、コックス絶対主義を通す。

これはローヤーが二年生二人と一年生二人という、いずれも下級生であつたことから、容易にできるし、絶対にするべきだと感じていた。

練習内容・回数ともにほぼすべて独断で決め、下級生のテスト休み期間をほとんど無視して（有無を言わず）、シーズン開始の週四からすぐに週五に増やし、最終的には週七まで増やした。練習も、時間と距離を決め、目標に達しなければ追加でどんどん増やし、試合の三分半のレースに耐えられるようにレースピッチで四分半以上を常にさせていた。

辞めたいというローヤーが出るかと思われたが、運よく辞める者なくシーズンを終わった。その点は恵まれていた

と言えるだろう。もちろん辞めたいと言ひ出したら…。

九 朝

この大会は一年生のデビューではあつたが、試合の雰囲気を経験する以外は、結果等は一切求めず、「楽しく漕ぐ」大会であり通過点程度、一年生が仕事を覚えてくれたら、と考えていた。

結果は予選が三位。まさかの女の子がローヤーをやつてゐる某大学のクルーに負けた。

二日目準決勝では、レーンが大荒れでまさかのその場スタート。川の中ほど側の二つのレーン（うち一つは自クルー）が発艇場につけられず、各クルーウオーターマンが離れたうえでその場スタートという前代未聞のスタート、そして一年生がシートを外したりとイベントだらけで五位敗退。

長崎大学のテントだけが、前日夜の突風で遠賀川に水没し支柱が折れたという災難にも遭遇した（二日目）。

女の子に負けたのはショックだったので基礎体力の向上がもっと必要だと思われた。

県 漕（崎陽）

一年生としては初めてとなる一〇〇〇mのレースなのだが、これまでの乗艇回数は数回ほどしかなかった。よつて形上までの移動中にフォワード中の最低限の動きの確認

を行い、あとはフィニッシュでの蹴りのタイミングを合わせることに意識を置かせることで、なんとか突貫工事を行い、レースに臨むこととなった。

予選

三の二上がりで、もう一艇の教育艇である普賢に勝てば決勝進出という形となったため、レース前の漕手のモチベーションは高かった。ノーワークでスタートを切ったため、普賢に出られる形での出だしとなる。艇の動きが安定してきたところで、フィニッシュを意識した足蹴りを入れたところうまく艇速が伸び、直後に追いつく。五〇〇m前にもう一度足蹴りを入れたところこれも艇速につながり、普賢を突き放すことに成功。その後も徐々に水をあけて行き、最後まで気持ちもつた漕ぎを維持、ゴールした時には十秒差をつけての勝利となった。

決勝

全四艇が出漕。実力が拮抗したクルーが不在のレースとなったが、例年教育クルーが県漕で決勝に出ることはそうなく貴重な機会であるため、気を抜かず漕ぎきることを指示。しかしながら、スタート直後には他の艇に出られる。すぐに足蹴りを入れるも前回のレースのようにフィニッシュでの伸びは出ず、後半にかけて徐々にバタバタしていく悪い展開に。何度か足蹴りを入れても反応が悪く

そのままゴール。予選での漕ぎに比べると課題が浮き彫りとなったレースとなった。しかし、経験の浅い漕手にとつて、一日のうち、調子が良いレースと悪いレースを経験したことは、本人たちの反省もあり、結果としては貴重なものとなったと考える。

西医体

九朝では、事情によりコックスとして出場できなかった。これが二度目の大会にして本番となった。この一月半はローヤーにとつては長くも短い時間だったと思う。予定を急ぎよ変更し、試験前日も練習をいれ、ほぼ休みがないように予定を組んだ。内容も毎年教育クルーが組むよりもハードに行い、ほぼ毎回ノーワーク一〇分×一セット、ビルドアップ一〇分 (rate 20-28) × 一―二セット、パドル四分スタート一分×三―四セットを固定メニューとして+αで繰り返した。

この五年間で新人戦を見ていて、力はあるけれどもいい成績を残すことができないのは、力を出し切れていないところにあると思った。特に新人は緊張するし、新人戦のコックスも初コックスであることが多く、スタートの失敗と中盤で差されることが多い。

スタートは出ることもよりも安定することに主眼を置き、以下に艇に変な力を加えないかを考えた。低レートから上げていくスタートに行き着き、これを徹底させよううえで上

手くスピードに乗る切り替えをスムーズにいくよう練習した。

また、後半きつくなつたときに、スパートをレート三四で一分以上漕がせることを繰り返し、レースで耐えられることを目指した。これなら中盤で勝負をかけても後半に逃げ切れると思えた。

予選

予選前、予期せぬことが起きた。スタート練習四本全て、三番が切れ込む。クルーの中に嫌な空気が流れる。かろうじてスタート直前に一本無難なスタートが出て、試合に臨むがローヤーは堅い雰囲気。

スタートは無難ながらも、二番争い。スピードになかなか乗らなかつたが、持ち直し、中盤から伸びてくる。滋賀の艇速が遅くなつてきたのに助けられ、六〇〇m過ぎに一位。スパートを入れる前にバタついたが、構わずスパート。これも無難にきまり、二位に七秒差をつけゴール。予選前は不安であつたが、試合内容は意外にまとまつたものだと思つた。

準決勝

前日の予選でのスタートの不安から、早朝の練習を執行する。試合は午後からなので、朝五時から一時間ぐらいのスタート練習ならまあ大丈夫だろうと思つた。日が変わつ

てみると、以外にスムーズ。混戦ながらも一位でローイングを終えられた印象。レート三〇ぐらいで以外に艇の進みもいい。

前日の打ち合わせ通り、五〇〇mで勝負をかける。食いついてくる熊本大学を振り切り、七五〇mでラストスパート。水をあげて余裕のゴール。ローヤーも上手く力がだせたのではないだろうか。気持ちいいくらいの完勝だった。内心決勝への手ごたえをつかむが、ローヤーには厳しい顔で「優勝は難しい」と言つて、反省ミーティングで気を引き締める。

決勝

前日のレース抽選で、最大のライバルと目される京都大学（準決勝タイムでは負けていた）が一レーンで、崎陽は六レーンとなる。

スタート。京都に出られた。熊本と二位争いだが、まだまだ京都は射程圏内。熊本はともかく、京都を横目で見ながら、ローヤーを励ます。膠着が続き、二位で中盤にさしかかる。熊本がゴールを入れたようだが、無視し、京都との争いに集中する。四五〇mで京都の速度が鈍り、足蹴り、レートを三二―三四と少し上げ、差を取り戻す。しかし、京都が若干出たまま膠着状態。七〇〇mでスパート。かなり長いスパートになるので、失敗も覚悟したが、以外にスパートで速度が落ちない。じわじわと一位との差を縮め八五〇mでかわしたと確信。「現在一位！現在一位！そ

のまま逃げ切れ！」と励ましつつ、さらにもう一回スパルトコール。

最後は全力を出し切り崩れることなく、一位でゴール。二位とは二秒差。見ている方はどちらが優勝したのかわからなかったのではないだろうか。

余談ですが、ゴール後に整調の上瀧がキレたのがさすがだと思いました。

五年間西医体に出てみて、最後に一番スリルあるいい試合ができました。今大会一度も負けることなく、完全優勝です。ローヤーの上瀧、菊田、田尻、三瀧、彼らはよくやっただと思います。来年も是非頑張ってください。(辞めることなく)

振り返ってみて

今大会、おそらく最重量コックスであり、一年生二人と二年生二人という若いクルー編成であった。上瀧は整調としては技術が甘く、三瀧は体力に難あり。菊田は体が異常に硬く、田尻は腹が出ている。当初は不安だらけだったが、終わってみるとクルーとしての調和は良かったのではないかと思われる。今シーズンは筋トレよりもエルゴも重視し、これまたハードなメニューにしたが、これが功を奏して体力確保ができたと思う。エルゴは大事。

ちなみに、大会前日に大橋君(普賢のコックス)と焼肉に行ったのは内緒です。コックス計量は七十二kg。やはりコ

ックスは多少やせている方がいいと思います。

Dクルー記

九州朝日レガッタ(ナックルフォア)
予選

私のコックスデビュー戦は、不覚にも救命具を持っていかず、スタートの段階で除外扱いとなった。レースは、松山大学Bがスタートローイングを行い、あつという間にトップに躍り出た。他の医学部のチームはノーワークスタートであったため、どこもダンゴであったが、私たちのクルーはスタートから五十m時点で五位であった。ただ、艇はまっすぐ進んでいたし、普段の練習のような漕ぎであったため、そのまま漕ぐように指示をだした。すると、先を行っていた二艇が失速し、三位に浮上した。このとき二〇〇m付近くらいであった。二位の熊大艇を追いかける形で「大きく漕ごう」と言った指示を出した。しかしながら、差は縮まらず、三位でゴール。三上がりのレースであったが、除外のため敗者復活へ。

注)現在、漕艇規則は人の少ない普段の練習中に救命具をしつかり持つていくことを前提に、人の多い試合では必ずしも救命具を持つていかなくてもよいという方向に改定されつつあり、現に今年の西医体では救命具の確認は行わ

れなかった。

敗者復活

レース前、私は審判長のところに頭を下げに行き、しっかりと反省したのちにレースに臨んだ。

本来なら、準決勝に出られたクルーである。

ノーワークスタートながら、スタートからトップを譲らずそのままゴール。快勝であった。

準決勝

風が強く、クイックスタートすらできない状況であった。十分くらいそのような状況が続き、私が初めて経験したスタート方法が審判によってとられた。

それは、ウォーターマンが艇から手を離し、全クルーが進行方向を整えつつゆつくりと周りの艇と歩調を合わせながら五〇m進み、そこからスタートするというものだった。私たちのクルーはスタート直後から強風にあおられ進行方向が右に傾き、それを修正するのに精いっぱい五〇mを進んだあとにスタートした。松山大学と新菱クルーはスタートローイングを行い飛び抜けて行った。その他のクルーはノーワークスタートを行い、やはりダンゴであったが、私たちのクルーはスタート一〇〇m地点ではもう一つの長崎大学のクルー崎陽と並び四位であった。スタートで慌てたこともあり、落ち着くように指示を出し、普段の練

習通りの漕ぎに戻ったのが二〇〇m地点位、産業医科大学をかわして三位に浮上したのが三〇〇m地点。見ていなかったが、途中二位の新菱クルーにアクセシデントが起こったようで失速していた。これを追いかけて、差を徐々に詰めたものの、最後まで及ばず三位。ここで敗退。

県漕

スタート後すぐにAクルーは離れていった。二五〇m地点では崎陽に半く一艇身つけていたが、一年生ローヤーは頭を前後に振って喘ぐような漕ぎをしており、疲れているのがわかった。喝を入れたがますます漕ぎは奇妙になり、五〇〇m地点で崎陽にさされてしまう。また、こちらへんで〇×が艇を蛇行させ、ブイを叩かせてしまう。五〇〇、七五〇で足蹴りを入れたが、崎陽にじりじりと離され、最終的に一艇身ほどつけられてゴール。

レース後のミーティングでは、一年生は一レースを戦う体力がついていないことを痛感したようで、今後、練習の中でしんどいときもマックスを出せるようにする大切さを確認しあった。

西医体

直前のローヤーの故障及びコーチの指示により、大幅にポジションチェンジを行い、C：大橋 S：上木 3：竹山 2：鴨打 B：竹田 で臨んだ。班蛇口湖についてか

ら水の掴みの感触は悪くなく、練習通り周りを気にせず漕ぐよう声をかけた。

三人の一年生にとっては初めての大きな大会であり、ある程度舞い上がってつまらないミスを犯す事も充分考えられたため、早めに蹴りだすなど随時考慮した。一本のミスロームもなく一〇〇m漕ぎきることは始めから期待しておらず、一本ミスしたあとすぐに立て直し食い付いていけるよう練習の焦点をあててきた。

予選：スタート、ローイングが終わり、コンスタントに入った時点で隣の紅駿とキャンバス差で二位。一レーンの葉隠に半艇身リードしていることを横目にみつ、最初の足蹴りを入れる。大きく崩すことはなく、少し伸びるが紅駿がそれ以上伸びる。五〇〇m過ぎて紅駿は半ば独走体勢。同時に葉隠が徐々に伸びてきて、キャンバス差まで詰められる。四位以下と大きく離れていて三位以内を確実視し、崩れることを覚悟で予定より一〇〇m早く足蹴りを入れる。思ったより伸びず逆にさされ、そのまま三位でゴール。予選突破という最低限の目標を達成し、一年生も勝負どころの難しさを実感できたはずなので刺された事を悲観視するよりは、充分な反省のもと、準決勝に頭を切り替えさせた。

準決勝：予選で敗れた二艇と同じ組。スタートはある程度出れるはずだとの認識はクルーで共有していたので、五〇〇m以降を勝負所だと定め、試合に臨んだ。

スタートは予想通り紅駿と並んでの一位。三〇〇m過ぎから紅駿が出て葉隠、滋賀医科大学、普賢で二位を争う。

五〇〇m過ぎ、普賢、葉隠が足蹴りを入れ、滋賀医科大学にキャンバス差リードするもそれ以上は離せず、ほとんど差はない。七五〇mから足蹴り、スパートをかけるが恐れていたミスローが出現。立て直せないまま二艇にリードを許し四位でゴール。一番練習したはずの場面で敗れたのでコックスとしてはローヤーに申し訳なかった。

順位決定戦：とにかく一位を狙う。順位決定戦だが、試合で一着のゴールインは一年生にとって今後大きな財産になるはずだ。五年として最後三人に勝利の喜びをなんとしても残したいと願った。

スタートは相変わらず上場でコグンジャーと並び一位で飛び出す。前半五〇〇はとにかく我慢させ、ほぼ同着の一位で六〇〇mを迎える。勝負所で何度も崩してきたので前半に勝負を決めたかったが、やはりスパートを入れないと勝ちきれない。何度も練習したことだぞと、大声を出し最後のスパートを入れる。大きく崩れず、三本目から徐々に四人が合いだす。劇的な伸びではなかったが、大して伸びないコグンジャーを引き離すには充分だった。半艇身を保って一着ゴール。漕ぎ手からも歓声が上がリ、コックスとしてはほっと胸を撫で下ろした。

2009年度Aクルー練習メニュー（一部）

澁谷コーチのご指導のもと、このようなメニューで練習しています。

	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日	5月9日	5月10日
AM	off	18km SR:20-22	18km SR:20-22	15km SR:20-22	15km SR:20-22	22km SR:20-22	22km SR:20-22
PM	off	20m SR:20-22	18km SR:20-22	off	Strength	22km SR:20-22	22km SR:20-22
	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日
AM	off	18km SR:20-22	18km SR:20-22	18km SR:20-22	18km SR:20-22	24km SR:20-22**	28km SR:20-22**
PM	off	Ergo 2000m T.T. + Strength*	(Strength*)	24km SR:20-22	Strength*	28km SR:20-22	off
	6月29日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日
AM	off	90 min SR:20-22 Sprintを含む	90 min SR:22-24 Sprintを含む	Up 2km 2000m (SR:30-32) x 2, rest 10min Down 2km	90 min SR:20-22 Sprintを含む	Up 4km 750m-on 1min-off x 8 x 2 (SR:34, REST 10min) Down 2km	Up 4km 30sec-on 60sec-off x 10 x 2 (SR:38 over, REST 10min)
PM	off	90 min SR:20-22 Sprintを含む	off	90 min SR:20-22 Sprintを含む	off	20km SR:20-22 Sprintを含む	off
	7月27日	7月28日	7月29日	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日
AM	off	90 min SR:20-22 500m x 2 (Race Pace)を含む	Up 6km 1000m x 4 SR:30-23, rest 10min Down 4km	Up 2km 2000m (SR:30-32) x 2, rest 10min Down 2km	90 min SR:20-22 Sprintを含む	移動	2000m x 3 (SR:28, 30, free) rest 10min
PM	off	90 min SR:20-22 500m x 2 (Race Pace)を含む	off	90 min SR:24-26 Sprintを含む	off	2000 m x 3 (SR:26, 28, 30) rest 5 min	移動

部員雑感

雑感

六年 梅田 雅孝

今回は学生最後の漕魂への寄稿ということで、現役を引退後の大学生活について書いてみることにした。

基本的に四年の夏で引退となると我々のその後の残された大学生活は、他の部活と比べても案外長いものだ。これは毎日のように艇に乗り、次の日の朝に少しでも体力を回復させるためにその日を生きるといった日々を過ごしているうちは実感がわかないかもしれない。

私のまわりの六年生はその時間を最近どう使っているかというと……（名前の五十音順に並べています）。

●勉強したくねくとか言いながらなんだかんだいって毎日十時間くらい勉強部屋に出没。ほんと尊敬します。マッチングではさくつと名門のK田総合病院に。仏頂面は相変わらず。

●夜な夜な、浜口をふらふらしているらしい。飲み会ではたまに女の子の手もかじる。引退後は学年のみんなとの交友関係が広がり幸せそう。スピリチュアル系のモノには現役時代ほどは手を出していない模様。

●私と同じで、もはや寝ても覚めても釣りのことしか考えていない。Tシャツ短パンで「やべえくやべえく」とか言いながら釣り場を探して彷徨っている。最近ではシシガワのモーターボートに乗って取る計画を練っているようだ。

●バイト↓海外といったアクティブな日々を送っている模様。興味のある分野の先生のところを聞きに行く積極性はさすがと思う。プライベートも充実しているらしく「もう僕ガマンできないんよね〜」というセリフは有名。

こんな感じで、皆、各々素晴らしい時間を過ごしているようだ。

現役時代の練習に明け暮れる日々は「大学生生活Ⅱ毎日毎日ボート漬け」となるが、その後の時間は、医学生としての本分の勉強に励むこともできれば、思い思いのキャンパスライフを謳歌することもできる。

しかし、いくら自由な時間があっても、あの現役時代に感じた充実感や熱量に勝る機会はそうないと思う。

だから、現役の皆は迷うことなく、引退後に悔いを残すことがないよう思う存分ボート漬けの毎日を送って欲しい。

ラスト雑感

六年 古賀 俊充

いよいよ最後の雑感となりました。この六年間のボ-

ト生活は非常に早かった気がします。ついこの前、入学手続会場で原口さんに勧誘を受けたような気がしてなりません。

僕が現役の頃にはシングルスカルを主に漕いでいたのですが、そこで非常によい経験をさせてもらいました。常に速く漕ぐためにはどうすればよいかを試行錯誤し、そのことだけを考えていました。元々、一つのことに深く熱中する性格なのでボートという競技に向いていたと思います。練習はきつくて大変だったけど、一つのこと熱中できた

期間は今思えば非常に貴重な時間でした。現役を離れ、国試勉強に打ち込むようになり、すっかり当時の体力は衰えてしまいました。現役時に鍛えた精神力は全く衰えていません。今後もボート部で培った精神力は自分の大きな武器になると確信しています。

また、団体競技というのも初めての経験でした。そこでは協調性が大きく育まれると思います。それも今後非常に大切になってくると思います。

最後に後輩の言いたいことは、とにかく一生懸命に「勝ち」にこだわって欲しいということです。「頑張ったから負けても仕方ない」という想いでは本当に頑張ったとは言えません。とことん勝ちにこだわってこそ得るものがあるのだと思います。そしてそこから得たものは一生の宝物になると思います。限られた時間しかない今の部活を大切にしてください。

僕は初期研修で千葉に行くことが決まっているので、近くに立ち寄った際には連絡を下さい。

雑感く卒業するにあたりく

六年 友延 寛

医学部キャンパスのシンボル周辺の木々も赤や黄色に色づいてきた。雲仙は紅葉が見ごろだそうだ。

つい先日、運よく、流れ星を目にした。オリオン座流星群である。約三〇〇年前のハレー彗星のチリだという。

赤と青の一瞬のひとすじの光。一瞬のきらめきだけに感動を覚えるのだろうか。

六年間を振り返ると、ボート部という良き仲間めぐり合えたことがどれほど幸運なことだったかと思う。正門で一番初めに声をかけられ、そのまま、飲み会で入部宣言をした。あの日はさえていたんだと思う。個性の強い先輩方に影響されて、僕も少しは個性が出てきたと思う。

ボート部を通じて、OBの先生方、先輩方、同級生、後輩達、先輩方からの流れの中で育ててもらったこと、先輩たちに教えてもらったこと、競技自体から教えてもらったこと、仲間を思いやること、自分との葛藤、周りとの葛藤、今という一瞬は戻ってこないこと、つらいことも過ぎ

れば得るものがあること、たくさん教えてもらった。貴重な体験だった。

次にオリオン座流星群が見られるのは七〇年後だという。宇宙の歴史からすると七〇年とはいかほどだろうか……

ときにたちどまって、夜空を見上げてみたいものだ。

六年間を振り返って

六年 濱口 陽

もうすぐ卒業だ。長かったような、短かったような。

一つ言える事は、ボート部に入ってよかつたと思う。いい先生や先輩、後輩に会えた。練習や試合でいろんな経験をした。これらは一生の宝物になると思う。ボート部最高。

旅のすすめ

六年 松岡 若利

ボート部は部活がハードで普段なかなか自分の好きなことができなかったりします。僕は五年生まで部活を続け、Aクルー一年、Bクルー二年間しましたが、確かにそれで

した。しかし、長期の休みには空いている時間を見つけて海外旅行に出かけました。今回は、これまでの六年間を振り返って、旅のすすめを後輩にしたいと思いました。

もし、大学生活で海外旅行に行きたいと考えている人がいれば、必ず行くべきだと思います。

僕は、大学のうちにオーストラリア、タンザニア、ベラルーシ、スイス、ベトナム、カンボジア、タイ、インドの国を旅した。

入学時、将来海外で仕事をしてみたいと何となく思っていた。だから、とりあえず海外旅行をしたくて、初めてオーストラリアに語学留学(とは言っても一ヶ月であるが)に出かけた。初めての一人旅で不安も大きかったが、それよりも、英語を話さざるをえない環境やオーストラリアの自然の雄大さに僕の心は躍った。オーストラリアという地が初めての海外旅行には優しく、そのせいもあつてもっともつというんな国に行きたいと思つた。

そして、一年後今度はアフリカのタンザニアに出かけた。アフリカという土地も、僕が大学のうちに必ず一回は行っておきたいと思つていた場所だった。タンザニアでは現地の人たちと一ヶ月共に生活し、昼間はボランティア活動を行った。ここでの生活は日本の生活とは全く異なり、大変なことが多かった(どんな?と思つた人は是非行つてみて下さい!)。でも、「地球にはこんな生活をしている人もいるんだ」ということを実感することができた。

そして、リサーチセミナーではベラルーシ・スイスに行かせて頂き、海外の医療を見学することができた。

あとの国はすべて友達とバックパッカーで行つた旅である。アジアはやっぱり自分が同じアジア人という事で、何となく親近感をもつて旅することができた。おススメはアンコールワット(カンボジア)とタージマハル・バラナシ(インド)だ。

遺跡好きにはアンコールワットは是非行つてもらいたい。教科書などで見たことない人はいないと思うが、実際に行くと、広大な土地に数え切れないほどの遺跡があるのは何とも時の流れを感じる。

インドは僕が旅した国の中で最も宗教を感じる国であつた。ヒンズー教の聖地であるバラナシには全国から巡礼者が集まり、ガンジス河の岸辺で沐浴をしていた。そして、ガンジス河の岸で人が火葬され、灰はガンジス河に流されている光景は何とも言えないものだった。タージマハルは、イスラム建築の中でも最も美しいとされているもの一つで、確かにその大きさと美しさには驚かされた。

旅とは言つてもトラブルはもちろんつきもの。僕も旅先で窃盗にあつたり、怪我をして病院に運ばれたりしたこともあつた。最悪だったのは、タンザニアの空港の外に出た瞬間にポストンバックを盗まれたことだ。ここまですなるともう開き直るしかなく、強烈なアフリカの洗礼だった。けれど、いろんな目に遭ううちにちよつとしたことはどう

でもよくなるし、お金とパスポートさえあれば旅はできることに気付く。

四月から働き始め、時間のない生活になると思うが、これからも世界を旅していきたいと思つています。

そして、是非、現役部員にはポートはもちろんのこと、旅に限らず色んなことをやって学生生活を楽しんでもらいたいと思います。

雑感

五年 岩津 伸一

時が経つのはとても早いもので、あっという間に五年生も終わりです。昔鍛え上げた筋肉はどこへ行ったのやら、腕も胸筋も細く薄くなつちやつて、尚且つ体重は自己新記録更新中です。

雑感…ウエーキジュニア

五年 上木 智博

今は平成二十一年。ということとは二十歳の人でもみな平成生まれということになるのでびっくりである。特に今年の新入生は浪人して入ってきた一年生も平成生まれだ。今

年、私はそんな彼らと同じクルーであったが、彼らのことは影（二年生あたりから）で「ウエーキジュニア」と言われていた。

やつらの特徴はとつても「幼稚」である。

大学の生協でAVを買おうとしたり（大学生協はDVDが二割引きで買える。）、試合前に「アレ」だけはするなと強く言つても我慢できずにやってしまつたりする彼ら…（それも多い奴で一晩に二回である）。

試しに、私が「チ○コ」と『一言』だけ言つてみると、奴らは十秒だけ必死に我慢できるが、それ以降は笑わずにはいられないと言つた感じで大笑いする。

試していないが、きつと「ウ○コ」とか「マ○コ」とか言つても大笑いするのだろう。

こんな感じで、アホばかりなので、自分ではツツコミまくつていたつもりがいつの間にか親しみも沸き、彼らは私のジュニアと言われるまでに打ち解けていった。

そんな彼らは、クルーを解消した今でも先が思いやられるが、彼らの先輩に若干の、本当にかすかな、蛍の光よりもはかない希望の光がある。それが、二年の丹下（たんげ）くんである。お分かりのように彼のあだ名は「○ンゲ」である。

私はこの宇宙人（彼は一年生の時はネギ星人というあだ名であった。）とも去年同じクルーだったのだが、こいつだけはどんな天変地異が起こつても変わることはないだろう

うと思つた。ただ、本当に少しだけだが一年生の時と比べると、二年生の時は成長していた（と私は不覚にも何回か感じた）。私はこの宇宙人はもしかしたら、後輩から「先輩」と呼ばれないのではないかとさえ危惧していたが、新入生の優しさもあつてか、もしくは上級生の先輩たちの指導の賜物か、初めての後輩から敬われている様子であつた。彼のほうも、ちゃんと（時に間違つていたが）後輩に対して指導を行っている風であつた。

私はここから一つの教訓を得た。どんな人間も成長すると。

おそらく、他の人の雑感でも書かれていると思うが、我がポト部は今変換期にあると思う。未来を背負つている今年の一年生、そして丹下君に期待を寄せながら、来年、再来年を飛躍の年にするべくエールを送りたいと思う。冒頭に「幼稚」と書いたが、これは別の言い方で言う「伸びしろが無限大にある。」と解釈していただいて、頑張つていただきたい。

総じて、この程度の文章しか書けない私が一番幼稚であるかもしれない。

雑感

五年 大橋 和明

二〇〇九年十一月某日早朝、前日より降り続いた雨でぬかるんだ道に足をとられ悪態をつきながら、僕は君の元に向かつていた。会うのはもう二週間ぶりか……二週間も一人にしたことなど君と出会ってからとんと記憶がない。くもの巣だらけの木立を抜けたその先に懐かしい姿を見つけた。

「ごめんよ、びしょ濡れじゃないか」君の美しい目にかかる濡れた落ち葉を払いのけながら僕は精一杯の謝罪の言葉を口にした。君は腫れぼったい目をゆっくり開け、雨に打たれることなど慣れてるよと言わんばかりにブルッと体を震わせた。ご機嫌ななめというよりは眠気の方が勝つたらしい。「触れてもいいかい？ 昔みたいに……」僕は恐る恐る尋ねた。君は何も答えない。僕はイエスだと受け取つた。鍵を開け、そつと君の中に滑り込む。君の中の空気はほんの二週間前のままだ。僕を外から覗き込む君の目が、早く……と言つていた。ああ分かつてるよ。僕はポケットから魔法の道具を取り出し君の冷え切つた躰にそつと差し込んだ。

君の咆哮が朝の静けさを切り裂いた。一・七ℓ SASOHC VTECの心臓が二週間ぶりの鼓動を取り戻した。大きく息を吸い込み、心拍数はたちまち500bpmを上回る。心臓が、肺が、手足が、そして全身が息を吹き返す。顔を覆つていた朝露を一拭きで拭き去り、君は空高く伸びをした。さあ行こう！ SW-40 SIGFの純正化学合成血液が全身に廻

つたのを確認した僕は、君の丸い手綱をしつかりと掴んだ。二人は細い路地をゆつくりと滑り出す。君のマクフアーソンストラットは相変わらずの長いストロークを、ダブルウィッシュボーンは多彩なジオメトリーを実現し、足回りは長崎の凸凹道でも苦にならない。

身体は温まった。ストレートでアクセルを開ける。あつという間にレッドゾーンに飛び込んだ心拍数は噴け上がりの良いレスポンスと共にすぐに正常値へと帰ってくる。そしてまたすぐ6800rpmの山頂へと飛び上がる。圧縮比九・九じゃ500psi以上だとなかなか息が続かないけどさ、低回転域では安定したトルク、高回転域では最高136psの高出力を提供してくれるVTECのおかげで君の一六〇〇kgの体重を考えるといささか不安なZAL170も問題ない。

つい先日買ってあげた新しい靴なんて扁平率五%ダウンして期待通りのグリップング。SEがたつたの二・五mmじやそりゃしんどかったよね。もう他の女にフロントヘビーだなんて言わせない。FRも真つ青の直進安定性だ。コーナーの鋭い立ち上がりは僕の腕。FFの君はさすがのスタビリティで嬉しそうにぐいぐい僕を引っ張っていく。

朝よりは上機嫌の君を見て僕は少しほっとした。君は本当にいい女さ。僕が他の女と何をしたって文句など一言も言わない。でもだからこそサインを見逃さないよう気をつけてる。時々新しい服とか買ってあげたりさ。でも知って

るだろ、今回は本当に金がなかったんだ。二週間の放置もあわせて新しい靴とお腹いっぱいプレミアムガソリンで許しておくれ。

雑感

五年 三反田拓志

五年になりました。今シーズンもまた、やりたい放題やってしまいました。よろしい、ならば来シーズンもだ、と言いたいですが、流石に老兵には厳しいんで、こらで勘弁して下さい。もう焼き肉とかみたくもないんで。焼肉断ちしたんで。

で、ポリクリ。流石にやりたい放題はできません。で、感想。

率直に、ポリクリで人は大人になっていくんだ、と思つた。盗んだバイクで走りだしても体は大きくはなるけど、ベッドでギシギシやつても、あつちの方は大きくなるかもしれないけど、尾崎豊を心から愛していても、大人にはなれないんです。これが。

ポリクリを回っていると、必ず各科で、必ずと言つていいほど出身地と出身高校と所属部活を聞かれます。あと、卒業後長崎に残るかどうか。もう、どの科に行つても。どの科の先生も、医局の先生方の数だけ同じ回数、聞かれま

す。どの先生も第一声はかならず「出身どこ?」。なんかもうね、心を丸裸にされる心境。最近見たAVはなんですか、誰がお気に入りなんですか、って聞かれる感じ。誰もきかれたことないだろうけど、これはすごいことですよ。

だから。これからポリクリを回る人達は、必ず準備して欲しい。先生方が食いつくような小ネタを。珍しい苗字とか、面白い形状のメガネとか、養殖でない髪質とか最強。もう先生の興味を独占できる。ほかのポリクリ生とももう完全空気同然。この病院には先生と自分しかいないんじゃないか、ってくらい、先生が興味丸出し。皆、ポリクリ回る前とか「臨床医のための症例プレゼンテーション」を読んでおくんだろうけど、とりあえず鏡の前で笑顔つくって、気の利いた一言をいえる心構えをしておいて欲しい。

これを読んだあなた。ポリクリを…ください。
それだけが私の望みです。

〈採用担当の方へ〉

あ、私事ですが、怖いのは、目の前の学年末試験よりもマッチングでのペーパー試験です。落ちたら素直に大学にChange! (お世話にな) ろうかと思ってますので、よろしくお願いいたします。

雑感

四年 北村 健二

部活を引退して二ヶ月以上たちました。後期が始まり他の四年生がまだ部活のお手伝いしているなか僕は部活をせず、居酒屋でバイトばかりしています。ボートのときは四時半に起きていたのに今は四時半に寝たりしています。そういうわけでなかなかシシガワに行けていません。他の四年生も頑張ってるので僕もときどき練習を見に行きたいと思います。

雑感

四年 中原 知之

結果も伴わなかったし、「まだまだそんなもんじゃ…」と人には笑われるかもしれない。しかしながら、今回改めてAクルーに乗って感じたことがある。それは、

『物事に真剣に取り組むことの大切さ』である。
我武者羅になることの楽しさを知った。

これからは何事に対しても我武者羅にいきたい。

雑感

四年 東 祥嗣

疲れた。これからはよく寝れそうです。

雑感

四年 藤田 拓郎

現在、私のマイブーム（死語？）はエルゴではなく、ジョギングである。以前は、ただ走るとか何が面白いのかさっぱわからんわくって感じてしたが、最近妙に走ってしまっておりませう。近々、行われる長崎ベイサイドマラソンで、ハーフマラソンデビューを果たします。とりあえず完走、出来たら二時間を切りたいか思っちゃったりしてます。そしていつかは、フルマラソンに挑戦したいかと思う今日この頃です。

昨日、髪を切りながら、美容師の方と話していたら、「十キロ走れたら、二十キロは走れるし、二十キロ走れたら、三十キロ走れるけれど、三十キロ走っても四十キロは走れるかわからないってお客さんが言ってたよ、フジタ君」って言われました。やはり四十キロって距離には魔物がいるのでしょうか？信じるか、信じないかは、あなた次第です…。

ボート部

四年 松浪 周平

ボート部に入って四度目のシーズンを終え、（一応）引退の身となった。いや〜早いもんだ。

今まで生きてきて、ボート部で過ごしてきた日々ほど精一杯だったことは無かったと思う。それほど忙しく、きつかった。他の医学部の部活の少なくとも二倍、下手したら三倍以上の練習日程。週十一で練習してるなどと言ったら、え、一週間は七日ですよ、と決まって言われる。シーズン中の授業はもはや睡眠時間でしかない。試験休みなど無いに等しく、試験当日の朝でさえ乗艇した。自分でも頭おかしいんじゃないかと何度も思った。長崎大学医学部体育学科漕艇部入学という冗談もあながち間違っではないな気がする。

と、つらつら愚痴は言うものの、なんだかんだでその状況を楽しんでいた。俺たちマジで泥くせうって。Aクルーに乗ってから辞めたいと思ったことは一度もないし。自分が上手くなっていくのが、艇が速くなっていくのが本当に嬉しかった。とにかく勝ちたいと、速くなりたいと思っていた。

それで結果が付いてくれば最高だが、そうそう上手くはいかないものだ。結局最後までいい結果は残せなかつた。スゲー悔しくて、とうか虚しくて、何やってたのかと、こんな事ならやらなきゃよかったと、そんな事まで考えてしまうほどで。

でも精一杯やらなきゃ得られないものも多くあるのだから。何より勝てないし。「努力した者が皆勝利できるわけではない。しかし勝利したものは皆すべからく努力している」とどこかの会長も言っていた。

何が言いたいのか良く分からなくなってきたが、とりあえずやるからには精一杯！つてことだ。いつでも大きく！大きく、強く!!これ重要…。

雑感

三年 川口祐太郎

ボート部に入つて感覚が麻痺してきました。週十モーションでも慣れるとなんとでもなります。もつといい感じに麻痺つていきたいと思えます。

雑感

三年 陣野 太陽

アニオンハセヨ。チヨヌン チン・ポコ イムニダ。

(こんにちは。私はチン・ポコです。)

カムサカムサスツパイマン。

(みなさんの中には日頃使っている言葉に、実は思いもよらない意味があるのを知つて楽しくなった経験がおりの方も多いいのではないでしょうか。)

プルコギマンコギライフサムゲタン。

(今日はそんな言葉を紹介しますので、みなさんのライフがちよっぴり豊かなものになればと思つておる次第であります。)

ヨ・チンコ。

(今日ご紹介いたします言葉は：「ちんこ」です。)

チンコ チャル モツケスムニダ。

(お昼からすみません。この言葉から想像するのはみなさんやはり、あれですよね？鉛筆から武器、ときには人間に例えられることもある、あれ。)

マシツソヨ、マシツソヨ、マシツソヨ!

(不適切表現のため翻訳不可)

コリアンアリランパツチギエリカサマベツニ? テツソヨ。

(実はなんと、「小さいもの」という意味もあるんです。使い方は、艇をトラックに積むときに「ちんこ軍団は上に行け!」と言つたりしますよ。)

チンチンデンシヤ ネアガリシタヨハムニダ。テツソヨ。
チヨギヨ。アラツソヨ。

(でも、どちらかといえば「小さいもの」よりも「大きいもの」であってほしいですね。)

キムジョンイル マンセ、マンセ。

(あのオツサンは正気か? いや、茶番もいいとこだ。)

以上、チン・ポコの「あなたの心にもカラーゲンを」から抜粋。

おかず紹介

三年 水野 貴基

最近食べたおかずでおいしかったものを紹介します。

通称「マヨボン」。以下普通の二人分くらいの分量です。

まず人参一本を一口サイズにぶつ切り(カレーに入れるような感じ)。玉ねぎ半分を適度に切ります(玉ねぎは牛丼に入っているような感じ)。さらにブロッコリーを一口サイズくらいに切ります。これらを炒めている間に、鶏肉ムネかモモを一口サイズに切ったものを片栗粉と醤油、砂糖で味付け。分量は感覚です。この肉もいっしょに炒めて、火が通ったらポン酢とマヨネーズで味を整えます。ただしそれぞれ大きじ二杯くらいだったような。

これが非常に美味しい。ビールによし、ごはんによしです。確か調味料を除いた材料の予算は四〇〇円くらいだったような…。暇なときはやってみてくださいね。

雑感

二年 大井隆之介

早いもので、もう二シーズン目も終わってしまいました。時間が過ぎるのも早いものだと感じたりもしますが、あと二年も早起きしてポート漕いだり、エルゴをしたりしないといけないのかと考えるとやはり泣きたくなります…。キツイことは嫌いなもので、はいスミマセン。

けど、誰もが苦しい時期を乗り越えていかなければならないこと、ありますよね。昔、テレビでこんな言葉が紹介されているのを今でも覚えています。

- ・止まない雨はない
 - ・出口のないトンネルはない
 - ・今が最低だと思ふなら、これ以上最低はない
- どれもよく耳にする言葉ですが、本当にその通りだと思ひ、辛い時に自分を励ますのによく使ったりします。もしよかつたら参考にでもしてみてください。
- では、また現役部員はオフシーズンも頑張っていきたいと思います。

雑感

二年 粕谷 泰祐

入部した時点で残り二シーズン…。
これを凶ではなく吉ととらえ、中身の濃いポートライフを送るのが今後の目標です。

雑感

二年 上瀧 善邦

今年、成人式を迎える。思い返すと十年前、小学校で二分の一人式があった。十年後には、大学で数学を勉強している、小学生にサッカーの指導をしている予定だった。ところがどうだろう、このありさま…。

授業では計算する機会などほぼなく、おまけにこんな部活にまで手を出すとは…。十年前の自分へ南無。ただ十年前の自分と明らかに違うのは、今の自分には夢があることだ。だから頑張れることだ。でも十年前、サッカーが本当に好きで、純粋にサッカーに打ち込んでいた自分も忘れずにしたい。それをできればポートにも……。無
理か。

雑感

二年 丹下 寛也

二ホンゴムズカシデース。

雑感

二年 朝野 宏視

夏休みちよつと忙しかったです。

雑感

二年 三瀧 正秀

中学からスポーツをやつてきて、どこか「負け癖」のよ
うなものがついてしまっている気がするが、今年の西
医体ではようやく勝つことができた。これは僕史上におい
てかなりの快挙である。

これからは「勝ち癖」をつけていきたいものである。

雑感

一年 鴨打 周

「どんなにきつなくても、次の一本が漕げないことはない」

日頃の練習で、きつくてたまらなかつた時はこう思うようにして、なんとか粘つて来た。しかし、西医体最後のレースは、八〇〇m辺りから、目の前が真っ白になっていき、この世の終わりかと思つた。結果的に、なんとかゴールまで漕げたが、あと二、三本多く漕いでいたら確実に何か起きていただろう。考えるだけで怖い。

これからはもっと体力をつけて、早く雑魚キャラを卒業したい。

雑感

一年 菊田 龍

今シーズンは西医体で優勝できたこともあり、充実したシーズンだったと思います。個人的にはいろいろ漕ぎの技術改善はありますが、大きく強くを大前提としてこれからも頑張つて生きたいと思います!!

雑感

一年 竹田 一博

高校一年の時なんですけど、部活の先輩と…。

あつ突然ですけど皆さんこんな経験ありませんか？怖い話を友達や恋人にしているうちに自分まで怖くなって最終的に二、三日は床のミシミシという音に過敏に反応したり寝床に就いて目を閉じるもなかなか寝付けなかつたりついでにう経験。

多分みんな一度や二度はあると思うんです。

今僕怖い話をしようと思つたんですけどやっぱりやめときますね。

雑感

一年 竹山 誠

僕は入学するまで十八年もの日々を過ごしてきたけど、入学してからの何ヶ月かで十八年分の早起きをする事ができた。

その意味でもボート部は素晴らしいと思う。

雑感

一年 田尻 昌士

ボート部に入ってから飲み会で吐いてばかりです。

飲んでも飲んでもコールと共にグラスを渡してくれる先輩方の優しさにはホント感激しました。

あ、飲み会といえは菊田君。T代さんとの飲み会を潰してしまつてすまんかった。

2008年度OB総会議題一覧

- 1 司会（諸藤先生）開会
- 2 新OB会員紹介
- 3 OB会会計報告
- 4 顧問教官報告
- 5 平成20年度 長崎大学医学部漕艇部活動報告
- 6 普賢の購入について
- 7 ビデオ購入のお願い
- 8 平成21年度長崎大学医学部漕艇部活動予定報告

平成 21 年度 長崎大学医学部漕艇部OB会収支報告

平成 22 年 2 月 12 日現在

収 入		備 考
前期繰越	2,054,727	
会 費	1,800,000	40,000 × 1 名 (H20年度分) = 40,000 40,000 × 44 名 (H21年度分) = 1,760,000
部誌広告・協賛	180,000	13社
預金利息	441	
合 計	4,035,168	

支 出		
西医体遠征費	442,800	西医体エントリー費 等
九朝レガッタ遠征費	187,050	九朝エントリー費 等
九州・山口大会遠征費	443,600	九山エントリー費 等
インカレ遠征費	559,700	インカレエントリー費 等
部誌経費	237,325	(H20年度発刊分)
新入生勧誘費・追コン費	342,500	
艇等購入費	100,000	購入費、輸送費、手数料
艇等修理費	350,000	
ボート協会登録費	27,000	
モーターボート免許取得費	89,600	
スピードコーチ代	200,840	
通 信 費	10,450	切手、はがき、封筒、送金料
雑 費	298,600	ビデオカメラ購入費、GPS購入費、ガソリン代等
会費手数料	11,450	
次期繰越見越額	734,253	
合 計	4,035,168	

長崎大学医学部漕艇部OB会会則

第一条 本会は長崎大学医学部漕艇部OB会と称する。

第二条 本会の事務所は、長崎大学医学部漕艇部に置く。

第三条 本会の目的は、漕艇部の円滑な運営の為に、精神的、物理的な援助を行い、あわせて部員の身体の練成ならびに陶冶を図り、会員相互の親睦をはかるものである。

第四条 本会は、漕艇部のOBからなる一般会員ならびに本会の主旨に賛同する賛助会員をもって組織する。

第五条 本会に下記の役員を置く。

(1) 会長 一名

(2) 副会長 二名

(3) 顧問 若干名

(4) 総務 若干名

(5) 会計監査 一名

第六条 会長、副会長、総務、会計監査はOB会にて互選し、顧問は、会長が委嘱する。

第七条 役員の内任期は、一年とする。ただし、再選は妨げない。

第八条 漕艇部顧問教官は、OB会に出席し、部の事情を説明しなければならない。

第九条 総会は、年に一度これを開くものとする。

第十条 本会の経費は、会費、寄付金その他の収入をもつて当てる。

第十一条 本会の経費は、一般会員より徴収し、会費は年度ごとに総会において決定する。

第十二条 本会の会計年度は、毎年四月一日より始まり翌年三月三十一日に終わる。

第十三条 本会の予算、決算は、総会の承認を得なければならぬ。

第十四条 本会には下記の帳簿を備える。

(1) 会則

(2) 会員名簿

(3) 会計簿

第十五条 会則の変更は、総会の承認を得なければならない。

付 則

この会則は、昭和五十四年度四月一日から施行する。

(昭和五十五年三月二十二日改正)

長崎大学医学部漕艇部OB会会員名簿

氏名	勤務先	勤務先住所	勤務先電話番号	E-mail address 1	医局
	自宅	自宅住所	自宅電話番号	E-mail address 2	卒業年度
長西 靖	731-5125	長西耳鼻咽喉科医院: 広島市佐伯区五日市駅前町1-11-37	082-923-8122		S46
	731-5125	広島市佐伯区五日市駅前町1-4-5-811	082-923-5839		
冬野 誠三	847-0844	なばたけ冬野クリニック: 唐津市菜畑3660-1	0955-75-2220	Nabatake@star.saganet.ne.jp	
	847-0844	唐津市菜畑208-57	0955-74-7378	fuyuno@matsuronet.co.jp	S48
松本憲一良	847-0846	松本内科クリニック: 堺市鳳西町1丁-92-2	072-264-0588		
	592-0003	大阪府高石市東羽衣4-5-4	072-264-8828	kema@violet.plala.or.jp	S49
峰 雅宣	854-0034	諫早市小野町332菅整形外科病院	0957-23-2388		第1内科
	847-0849	長崎市柳谷町4-13	095-847-6031		S49
朝戸 末男	891-9112	朝戸医院: 鹿児島県大島郡和泊町和泊14	0997-92-1131		
	891-9112	鹿児島県大島郡和泊町和泊16	0997-92-2280	sasato@nisiq.net	S50
内田 隆寿	859-4825	青州会病院: 長崎県北松浦郡田平町山内第612-4	0950-57-2155		第2外科
	857-0135	長崎県佐世保市瀬戸口11-30			S50
桜井 一枝	720-0822	みつふじ小児科: 福山市川口町2-22-11	084-953-0307		小児科
	721-0952	広島県福山市曙町5丁目24-38	084-954-4454	mitsufuji@fukuyamahiroshimamed.or.jp	S50
瀬戸 信二	852-8501	長崎市坂本町1-7-1長崎大学大学院総合研究科循環病体制御培化学	095-849-7288	s-seto@nagasaki-u.ac.jp	第3内科
	852-8052	長崎市岩屋町17-2	095-857-1808		S50
早田 篤	850-0031	桜町福祉保険部中央保健センター	095-829-1154		小児科
	847-0859	長崎市立岩町77-10	095-862-5622		S50
田川 泰	852-8520	長崎大学医歯薬総合研究科保健学科専攻	095-819-7000		第1外科
	851-2128	長崎県西彼杵郡長与町埴里郷98-12	095-887-1391	tagawa@net.nagasaki-u.ac.jp	S50
富海 五郎		なし			愛媛大精神科
	790-0903	愛媛県松山市東野1丁目6-15	089-977-1812		S50
中野 文耕	853-2301	新上五島町立若松診療所: 長崎県南松浦郡新上五島町若松郷281	0959-46-3315	メー儿は使わない	第2外科
	853-2301	長崎県南松浦郡新上五島町若松郷281	0959-46-3318		S50
丹羽 正美	852-8523	長崎大学医学部第1薬理学教室: 長崎市坂本1-12-4	095-819-7041		第1薬理
	852-8052	長崎県長崎市岩屋町20-28-1001	095-883-6395	niwa@net.nagasaki-u.ac.jp	S50
馬渡 一雄	850-0001	まわたり内科医院: 長崎市西山2丁目9-2	095-822-0101		第3内科
	850-0001	長崎市西山2丁目9-2まわたり内科	095-822-0101		S50
石川 治	670-0936	石川医院: 姫路市古二階町135	0792-23-3270		岡山大外科
	670-0936	姫路市古二階町12	0792-23-1307		S52

川口 昭男	850-0045	井上病院:長崎市宝町6-12	095-844-1281		第1外科
	852-8046	長崎市柳谷町14-27	095-847-5529		S52
神田 源太	854-0301	愛野記念病院(非常勤): 豊仙市愛野町甲3838-1	0957-36-0015		皮膚科
	850-0003	長崎市片淵1丁目12-7	095-822-7051		S52
田中 精一	192-0903	八王子消化器病院: 東京都八王子市万町177-3	0426-26-5111		女子医大消化器センター
	193-0811	東京都八王子市上巻分方町246-1	042-651-7640	s_tanaka@xa2.so-net.ne.jp	S52
堤 健二	833-0054	つつみ脳神経外科クリニック: 福岡県筑後市大地蔵敷642-7	0942-42-1155	k-tutumi@mx2.tiki.ne.jp	脳外科
	839-0863	久留米市国分町1121-9アパルティメントB-1	0942-22-3272		S52
吉良 満夫	852-8008	長崎市曙町3-6浜崎外科病院	095-861-6034	kira@mx.cncm.ne.jp	第2外科
	847-0881	長崎市曙町3-6	095-861-6034		S54
出口 正巳	530-0001	大阪府大阪市北区梅田2-4-37 西梅田上島ビル5階医療法人正祥会カリヌクリニック	06-4797-4000		形成外科
	659-0012	兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町17-46	0797-38-8077	masami@deguchi.name	S54
井上健一郎	850-0045	井上病院: 長崎市宝町6-12	095-844-1281	ken-inoue@shunkaikai.jp	第2内科
	852-8102	長崎市坂本1-2-5	095-846-2218		S55
小村三代治		～逝去～			S55
江口 圭介	857-0015	千住診療所佐世保市栄町5-26	0956-23-1010	dreguchi@hyper.ocn.ne.jp	第3内科
	857-0015	佐世保市松山町5-38	0956-22-2224		S55
成松 元治	811-0117	福岡県糟屋郡新宮町上府太郎丸675 (医法)北里循環器科医院	092-962-0022	narimatu@ngs1.cncm.ne.jp	心臓血管外科
	811-0117	福岡県糟屋郡新宮町上府678-8-103		narimatsu@nmc.hosp.co.jp	S55
水谷 明正	847-0890	長崎記念病院: 長崎市深堀町1-11-54	095-871-1515		第2外科
	847-0891	長崎市ダイヤランド1-36-19	095-878-3807	akimac@momo.so-net.ne.jp	S55
小倉 猛	866-8533	熊本労災病院: 熊本県八代市竹原町1670	0965-33-4151		形成外科
		熊本市画図町重富744-13	096-379-7592	togura@lime.plala.or.jp	S56
谷川 宗生	847-0894	長崎北病院: 長崎県西彼杵郡時津町元村郷800番地	095-886-8700		第3内科
	847-0895	西彼杵郡長与町高田郷1196-122	095-883-4030		S56
難波 裕幸	850-0921	長崎市松が枝町3番20号: 医療法人春秋会 南長崎クリニック	095-827-3606	namba@nagasaki-u.ac.jp	原研細胞
	847-0897	長崎県西彼杵郡長与町高田郷858-103	095-883-7541		S56
前原 洋二	835-0024	森整形外科: 福岡県三山市瀬高町大字下庄590	0944-63-2040	stady@m.polka.plala.or.jp	S56
	847-0899	福岡県久留米市津福本町786-6グランビエマンション津福1001	0942-37-5038		S56
村山 晋	814-0001	福岡市早良区百道浜4-2-1-1503	092-822-1126	stella.murayama.0425@za.ztv.ne.jp	三重大第1内科
山近 史郎	850-0045	特別医療法人春回会 井上病院内科・循環器科 長崎市宝町6-12	095-844-1281	yamachika@shunkaikai.jp	
	850-0804	長崎市彦見町18-4	095-825-3580	shiyama@mx.cncm.ne.jp	S57

岡田 代吉	807-0743	おかだ外科胃腸クリニック：北九州市八幡西区三ヶ森4-9-24-202	093-613-7188	メールは使わない		
	807-0846	北九州市八幡西区里中1丁目8-22	093-613-3732			S58
倉富 彰秀	842-0002	医療法人 輝秀会：佐賀県神埼市神埼町田道ケ里2435-1	0952-52-8841	soarer1956@w4.dion.ne.jp		S58
	847-0002	佐賀県神埼市神埼町田道ケ里2435-1		pose-japan@msf.biglobe.ne.jp		S58
末永 俊郎	801-0852	末永産婦人科産科：北九州市門司区港町6-15	093-321-2453			S58
	801-0852	北九州市門司区港町6-15	093-322-1751	suetoshi@k.kij4u.or.jp		S58
中崎 隆行	852-8104	長崎原爆病院：長崎市茂里町3-15	095-847-1511			第1外科
	852-8102	長崎市坂本2-18-15	095-842-2391	nakazaki@topaz.ocn.ne.jp		S58
永見 耕一	758-0025	永見眼科医院：山口県萩市土原351	0838-22-0720			S58
	758-0025	山口県萩市土原351		nagamii@haginet.ne.jp		S58
永山 雄二	852-8523	長崎大学医学部原研分子教室：長崎市坂本1丁目12-4	095-819-7173			第1薬理
	851-2126	長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷579-40	095-887-2796	nagayama@nagasaki-u.ac.jp		S58
松永 伸彦	854-0072	まつなが眼科：諫早市永昌町43-1	0957-25-8866			S58
	854-0086	長崎県諫早市堀の内町23-2	0957-27-1333	matsus6@mocha.ocn.ne.jp		S58
松尾 圭一						S58
						～逝去～
今里 雅之						～逝去～
						女子医大消化器センター
小林 誠博	803-0831	北九州市小倉北区日明(ひあがり)4丁目6-28 小林外科医院	093-561-6353			第1外科
	805-0016	北九州市八幡東区高見2丁目10番1-601	093-651-8786	qq2r9xwn9@vega.ocn.ne.jp		S59
平野 友久	850-0953	上戸町病院：長崎市上戸町129	095-879-0705			S59
	850-0963	長崎市タイヤランド3-28-6	095-878-8913	hirano@kenyukai.or.jp		S59
糸柳 則昭	850-0842	糸柳クリニックニツク 長崎市新地町1-5 MMCビル4階	095-832-7000			第1外科
	851-2130	西彼杵郡長与町まなび野2-18-2	095-887-4927	itoyanagi@nifty.com		S60
日高 真	300-1152	筑城県稲敷郡阿見町荒川本郷2032-272.しんくろいニツク	029-875-5686	hidaka.sin@maroon.plala.or.jp		筑波大精神科
	300-1245	茨城県つくば市高崎692-5	029-873-3382	hidaka.sin@silk.plala.or.jp		S60
松岡 直樹	850-0832	長崎内科リウマチ科病院：長崎市油屋町1-21	095-822-3151			第1内科
	850-0037	長崎市金屋町9-9-1301	095-829-4077	mmatuoka-nag@nagasaki.met.or.jp		S60
矢次 登	800-0344	小波瀬病院：福岡県京都郡苅田町新津字1598	09-302-4-5211			整形外科
	810-0052	福岡市中央区大濠1-10-24-601	092-762-5352			S60
高須 勝也	851-2126	常葉会 長与病院：長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷647	095-883-6668			第2外科
	859-0407	諫早市多良見町シーサード20-133	0957-43-2654			S61
中里 貴浩	811-2232	勤務先：栄光病院消化器内科福岡県糟屋郡志免町別府西三丁目8番15号	092-935-0147	nakazato@ymt.lbbiq.jp		内科
	811-2103		092-934-3648			S61

中山 大介	852-8501	長崎大学産婦人科	095-819-7363	nakayama@nagasaki-u.ac.jp	産婦人科
	850-0048	長崎市上鏡座町12-2	095-848-4575		S61
青木 幹弘	856-8562	国立病院機構長崎医療センター:長崎県大村市久原2丁目1001-1	0957-52-3121	aoki@mmc.hosp.go.jp	小児科
	856-0846	長崎県大村市日泊町446-1	0957-50-0956		S62
石井 久敬	831-0004	福岡県大川市榎津137-1 国際医療福祉大学リハビリテーション学部	0944-89-2000		福岡大学精神神経科
	814-0001	福岡市早良区百道浜4-17-9	092-821-7340		S63
岡野 邦彦	852-8102	長大附属病院整形外科:長崎市坂本1丁目7-1	095-819-7321	kuni@net.nagasaki-u.ac.jp	整形外科
	852-8117	長崎市平野町14-13セントヒルズ平野102号			S63
朝長 道生	843-0301	朝長医院:佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿2188	0954-43-2117		第2内科
	843-0301	佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿2191	0954-43-2132	tomonaga1962@gmail.com	S63
中島 寅彦	812-8582	九州大学医学部耳鼻咽喉科:福岡市東区馬出3-1-1	092-642-5668		九大耳鼻科
	814-0113	福岡市城南区田島6-2-24	092-871-5238		S63
天野 秀明	852-8085	虹ヶ丘病院 呼吸器科:長崎県長崎市虹ヶ丘町1-1	095-856-1112	floatingymph@ybb.ne.jp	呼吸器科
	852-8027	長崎市城山台2丁目30-3	095-864-1101	chinu@ceres.dti.ne.jp	H1
金色 正広	805-8534	北九州市立八幡病院麻酔科:北九州市八幡東区西本町4-18-1	093-662-6565		麻酔科
	805-0061	北九州市八幡東区西本町4丁目15-23-705	093-663-3055	kanairo@mars.dti.ne.jp	H1
吉川 公正	803-8543	健和会 大手町病院:福岡県北九州市小倉北区大手町15番1号 093-592-5511	093-881-8181	cbq47591@pop06.odn.ne.jp	脳外科
	808-0016	北九州市若松区原町9-6	093-751-6528		H1
旭 隆宏	811-3414	福岡県宗像市光岡5番1号:あさひ小児科クリニック	0940-34-8555		九大小児科
	811-4163	福岡県宗像市自由ヶ丘1-9-7	0940-33-1492	asahi-clinic@orange.plala.or.jp	H2
白藤 智之	852-8125	聖クリニック病院:長崎市小峰町9-20	095-846-1888		第1外科
	852-8151	長崎市泉1-3-4	095-846-0191	shirahuji@hotmail.com	H2
寺尾 保信	113-8677	東京都立駒込病院:文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101		慈恵大形成外科
	108-0074	東京都港区高輪3-16-8-206	03-3443-5034	y.terao@cick.jp	H2
中村 晋	813-0042	中村内科医院:福岡市東区舞松原1丁目1-6-18	092-681-7363	ryo-n@mn.jiu.or.jp	九大第2内科
	813-0031	福岡市東区八田2丁目 1-52 ヲエルズ香椎南413	092-662-4414		H2
山本 太郎	852-8523	長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野:長崎市坂本1-12-4	095-819-7869	y-terao@nagasaki-u.ac.jp	熱研社環境
	853-8102	長崎市坂本1-11-15-12	090-7462-6959		H2
生田 安司	853-0393	嬉野市嬉野町大字下宿丙2436嬉野医療センター外科	0954-43-1120	vikuta@uresino.go.jp	第1外科
	843-0301	大分市新春日町1-4-27 301号	097-547-7973		H3
市川 辰樹	852-8501	長崎大学付属病院 第1内科:坂本1-7-1	095-819-7262	ichikawawa@net.nagasaki-u.ac.jp	第1内科
					H3
鈴木 康弘	860-8556	熊本大学第二内科:熊本市本荘1-1-1	096-344-2111		熊本第2内科
	862-0924	熊本市帯山2-5-74		totoro_64@yahoo.com	H3

田中 邦彦	852-8523	長崎大学医学部第一薬理:長崎市坂本1丁目12-4	095-819-7043	kunny-ta@net.nagasaki-u.ac.jp	第一薬理
	852-8035	長崎市油木町52-93-413	095-845-8355		H3
山本 修	850-0004	山本外科医院:長崎県長崎市下西山町1-5-1F	095-823-8585		第2外科
	850-0015	長崎市矢ノ平二丁目2-23	095-824-4600		H3
劉 中誠	857-0071	健康保険諫早総合病院:長崎市諫早市永昌町24-1	0957-22-1380	oryu@hospital-isahayasougou.jp	第1外科
	851-0137	長崎市高城台2丁目11-35	095-839-2112	oryu@ruby.ocn.ne.jp	H3
黒木 保	852-8102	長崎大学移植消化器外科:長崎市坂本1丁目7-1	095-819-7316	tkuroki-gi@umin.ac.jp	第2外科
	852-8501	長崎市小江原4-18-3			H4
佐藤 俊一	380-8582	長野市若里5丁目22-1長野赤十字病院	026-226-4131	ssato@nagano-med.jrc.or.jp	信州大第3内科
	380-0803	長野市三輪4-2-22 102号	026-232-7970		H4
趙 成三	852-8101	長大附属病院麻酔科:長崎市坂本1丁目7-1	095-819-7370	chos@net.nagasaki-u.ac.jp	麻酔科
	852-8061	長崎市滑石5丁目4-80-404	095-856-3793		H4
津田 純	154-0014	津田耳鼻咽喉科:東京都世田谷区新町3-20-1	03-5450-7237	jun_aya.kaoru@nifty.com	H4
	105-0001	東京都南区虎門3-14-1 2604	050-5803-8152		H4
中野 基	857-8511	佐世保市平瀬町9-3佐世保市総合病院形成外科	0956-24-1515	motoinakano@hotmail.com	形成外科
	857-0806	佐世保市島瀬町3-27グランドデュオ島瀬ビル202号	0956-25-7087		H4
福井 雅士	850-0045	井上病院:長崎市宝町6-12	095-844-1281	fukuinassashi@hotmail.com	形成外科
	852-8015	長崎市暮木町15-55	095-861-3693		H4
南 恵樹	855-0881	長崎県島原市下川尻町789番地県立島原病院外科	0957-63-1145		第2外科
	852-8108	長崎市川口町1-1-1213	095-846-8660	shininami-gi@umin.net	H4
竹下 浩明	852-8501	長大医学部附属病院第2外科:長崎市坂本町7-1	095-819-7304	takehiro@nagasaki-u.ac.jp	第1外科
	852-8133	長崎市本原町19-8	095-800-2696		H5
近藤 新二	852-8521	長崎市文教町1-14長崎大学薬学部薬物治療学	095-819-2448	kondoso@nagasaki-u.ac.jp	形成外科
	850-0001	長崎市西山4丁目511-301	095-844-7177		H6
斎藤 将隆	805-0012	北九州市立八幡病院:福岡県北九州市八幡東区西本町4丁目18-1	093-662-6565	saito@yahata.ht.jp	麻酔科
	805-0016	福岡県北九州市八幡東区高見町1-2-25-209	093-653-2246		H6
阪上 学	565-0871	大阪大学医学部付属病院 麻酔集中治療科:大阪府吹田市山田丘2-2	06-6879-3133	sakaue@anes.med.osaka-u.ac.jp	大阪大麻酔科
				sakaue@fjiiduo.or.jp	H6
松尾 敏明	894-2322	加計呂麻徳洲会診療所:鹿児島県大島郡瀬戸内町瀬相747-1	0997-75-0116		神戸大国際予防医学
	894-2322	鹿児島県大島郡瀬戸内町瀬相747-1	0997-75-0373	mariongtong@yahoo.co.jp	H6
岩井 敏郎	806-8501	九州厚生年金病院:福岡県北九州市八幡西区岸の浦1丁目8-1	093-641-5111		九大心臓血管外科
	814-0104	福岡市城南区別府7丁目5-35-1005	092-821-7225		H7
宗 英吾	843-0393	嬉野市嬉野町大字下宿丙2436嬉野医療センター	0954-43-1120	eigo@uresino.go.jp	耳鼻科
		長崎市今博多町35番地1001号	095-826-2472		H7

中橋 了太	852-8501	長崎大学医学部第1薬理学教室:長崎市坂本1-12-4	095-819-7773		第1薬理
	852-8027	長崎市城山台2-32-8	090-7986-2728	nakaake@net.nagasaki-u.ac.jp	H7
藤本 武士		佐藤総合病院:佐世保市平瀬町9-3	0947-44-2100	ttujimoto@hospital.tagawa.fukuoka.jp	第1内科 H7
安田恵多良	560-0021	やすだクリニック:大阪府豊中市本町2-4-28	06-6846-2222	yasuda_clinic@piano.ocn.ne.jp	大阪大脳外科
	560-0045	大阪府豊中市刀根山6-2-5	06-6531-3133	gentaro999@yahoo.co.jp	H7
古賀 洋安	852-8501	長崎大学医学部付属病院麻酔科:長崎市坂本1-7-1	095-819-7475	coffee35@mx6.tiki.ne.jp	久留米大小児科
				hirokkoo@mx6.tiki.ne.jp	H8
城田 利彦	01558-2-3111	北海道広尾郡広尾町公園通南4-1 広尾町国民健康保険病院 循環器内科		toshishirota@hotmail.co.jp	九大心臓血管外科 H8
関 徹	272-8813	静和中山病院千葉市川市中山2-10-2	047-334-3480	QWP07174@nifty.ne.jp	東北大精神科 H8
	140-0002	東京都品川区東品川4-10-18-1507	03-3450-3813		
武野 正義	852-8102	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科循環病態制御内科:長崎市坂本1丁目7-1	095-819-7288	mtakeno@net.nagasaki-u.ac.jp	第3内科 H8
福田 颯三	838-0141	嶋田医院同医院外科:福岡県小郡市小郡217-1	0942-72-2236		第2外科 H8
	830-0047	福岡県久留米市津福本町6-47	0942-31-5715		
山里 昌司	825-8567	田川市立病院:福岡県田川市大字糠1700-2	0947-44-2100		第3内科 H8
	825-0002	福岡県田川市桐ヶ丘7組医師住宅11-A	0947-45-3025		
岡 真一郎	8700857	大分共立病院:大分市明礪四組	097-543-1177		第2内科 H9
		大分市青葉台1丁目1-5	097-507-8947		
岡田和一郎	440-8510	豊橋市飯村町字高山11番地 国立療養所豊橋医療センター	0532-62-0301		
	440-0033	愛知県豊橋市東岩田4丁目5-1Aの301	090-1625-8528		H9
牟田口 滋	839-0801	久留米市宮ノ陣3丁目3番8号 古賀病院21	0942-38-3333		九大整形外科 H9
	812-0032	福岡県福岡市早良区小田部6丁目12-20 リバーウインズ103号	0942-44-3064	shigemuta@ybb.ne.jp	
大石 正雄	904-8585	中部徳州会病院:沖縄市照屋3-20-1	098-937-1110		形成外科 H10
	904-2165	沖縄市宮里3-25-47-301	098-927-7126	moishi999@hotmail.com	
古賀 聖士	852-8501	長大病院第2内科	095-819-7274	kogase@mac.com	第2内科 H10
		長崎市坂本1丁目4-5-207			
崎元 暢	173-8610	日本大学医学部眼科:板橋区大谷口上町30-1	03-3972-8111	torusaki@med.nihon-u.ac.jp	日大眼科 H10
	108-0072	港区白金2-7-17-1102	03-3443-3313	toruotto@mwebiglobe.ne.jp	
山崎 励至	857-8511	佐世保市立総合病院	0956-24-1515		原研内科 H10
高橋 優二	854-8501	健康保険諫早総合病院:長崎市諫早市永昌町24-1		yujibika@pop16.odn.ne.jp	
		長崎市泉1-17-3	095-849-841		H11

谷川 治	838-0068	朝倉健生病院:福岡朝倉市甘木151-4 福岡市南区平和1-30-13	0946-22-5511 090-4584-1027	なし	H11
牧野 淳	130-8575 136-0071	都立墨東病院救命救急センター:東京都墨田区江東橋4-23-15 東京都江東区亀戸2-1-21-406	03-3633-6151 03-5856-8054	junnakino@hotmail.co.jp	H11
宮崎 浩充	980-8574 990-0044	東北大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科:仙台市青葉区星陵町1-1 山形市木の美町13-2サンシティ木の美町705	022-717-7304 023-673-0935	hiro-m@vg7.so-net.ne.jp	耳鼻科 H11
山本 経之		逝去			
吉野 俊平	820-8505	福岡飯塚病院:飯塚市芳雄町3-83 福岡県飯塚市川島1-71ペーパークラフト立岩601	0948-22-3800 0948-23-8590	syoshi26@aol.com	飯塚病院 H11
澁谷 正樹	755-0067 755-0035	山口大附属病院第2内科:山口県宇都市南小串1-1-1 宇都市西琴芝2丁目10-23-203	0836-22-2653 0836-29-0428	bc8m-sby@asahi-net.or.jp	山口大第2内科 H12
土井 晋平	不明	不明			神戸大第2内科 H12
福田 義文	671-1688 651-2274	たつの市揖保川町半田703-1 揖保川病院 神戸市西区竹の台4-21-5	0791-72-3050 078-991-5883	a807445@moco.ne.jp	H12
程野 茂樹	790-8524 799-3111	愛媛県松山市文京町1番地松山赤十字病院麻酔科 愛媛県伊予市下吾川676-1	089-924-1111 089-983-3504	hodonoo@df5.so-net.ne.jp	愛媛大麻酔科 H12
松永 祥志	866-8562 856-0835	国立病院機構長崎医療センター:長崎県大村市久原2丁目1001-1 大村市久原2-1241-1-102	0957-52-3121		脳外科 H12
及川 将弘	852-8102 852-8135	長崎大学付属病院第一外科:長崎市坂本1-7-1 長崎市千歳町5-26 チトセビル南棟1003	095-819-7304 090-1167-8282		麻酔科 H13
森 創	100-8916 273-0032	厚生労働省(順天堂大学公衆衛生学教室より出向)東京都千代田区霞ヶ関1-2-2 千葉県船橋市葛飾町2-372 サニーウエスト西船橋404号	047-434-1246	mori-hajime@mhlg.jp neomorisoo@k2.dion.ne.jp	H13
ウイングエンロン	300-1296 300-1236	牛久愛和総合病院茨城県牛久市落子町896 茨城県牛久市田宮町137-144 201号室	029-873-3111 090-9408-8805		心臓血管外科 H13
松本 周平	852-8102 852-8041	長崎大学付属病院麻酔科:長崎市坂本1-7-1 長崎市清水町3-23-506	095-819-7370 095-843-2536		H13
諸藤 陽一	852-8102 852-8117	長崎大学付属病院脳神経外科:長崎市坂本1-7-1 長崎市平野町8-17-102	095-819-7375	yoichi51@hotmail.com	H13
蓬萊 彰士	852-8102 852-8116	長大医学部第1薬理学教室:長崎市坂本1丁目12-4 長崎市平和町8-17 303	095-819-7041 090-1369-5720		精神神経科 H14

青山 英和	755-0067	山口大学大学院医学系研究所 山口県宇部市子母386-1MTビル301	0837-23-0033		山口大第2内科 H14
西條 知見	852-8502	長大付属病院第2内科:長崎市坂本1丁目7-1	095-819-7375	不明	第2内科 H14
高木 理博	591-8025	近畿中央胸部疾患センター:大阪府堺市北区長曾根町1180番地 大阪府堺市北区長曾根町1180番地 RC-2-221	072-252-3021 072-259-5310	rihaku1@mue.biglobe.ne.jp	熱研内科 H14
田辺 孝大	130-0022	都立墨東病院救急救命センター:東京都墨田区江東橋4丁目23-15 墨田区江東橋4丁目23-15都立墨東病院医師公舎319号	03-3633-6155 090-9604-7079		麻酔科 H14
渡辺 庸平	980-8574	東北大学付属病院小児科:仙台市青葉区星陵町1-1	022-717-7744		小児科 H14
崎元 晋	565-0871	大阪府吹田市山田丘2-2:大阪大学眼科学教室	090-7549-9602	nabe-76@eagle.ocn.ne.jp	阪大眼科 H15
猪狩 圭介	856-8562	国立病院機構長崎医療センター:長崎県大村市久原2丁目1001-1 大村市久原1001-1松移館201号	0957-52-3121	skmtssm7923@yahoo.co.jp	H16
近藤 学	755-8505	山口大学医学部第3内科研究室:山口県宇部市南小串1-1-1	0835-22-4411		H16
田浦 康明	654-0081	山口県宇部市西琴芝2丁目2-5-302 兵庫県立こども病院 小児外科 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1	0836-35-2524	golgo0307@hotmail.com	H16
豊田 啓介	856-8562	長崎大学病院脳神経外科 長崎県大村市久原2丁目1001-1松移館203	0957-52-3121	enzokun7@yahoo.co.jp	H16
山口 仁平	856-0835	長崎市民病院耳鼻科 長崎市平野町22-14ボツヌール平野町104号		yninpei@hotmail.com	H16
吉武 記一	747-0836	山口大学医学部:山口県宇部市南小串1-1-1公衆衛生学教室 山口県防府市大字植松1799	0836-22-2283 0835-29-0363		H16
高田 潤	533-0032	大阪市東淀川区淡路2-9-26 淀川キリスト病院 大阪市東淀川区東中島6-8-18淡路シヅルハイツ108	06-6322-2250 06-6320-4075	kiichi_12.23@yahoo.co.jp a105105@y.ch.or.jp	H17
荒木孝太郎	816-8114	福岡県春日市須玖北4丁目5番地:福岡徳州会病院 福岡県春日市日の出町3-2-1 ラーベインビオ春日1-809	092-573-6622 090-7152-2717	kotaro002@hotmail.com	H18
夏田 孔史	852-8501	長崎市坂本1丁目7番1号:長崎大学医学部腫学部付属病院 長崎市坂本1丁目13-53アサヒツインハイツ204号	099-842-1696	no_rain.no_rainbow1018@yahoo.co.jp	H18
冬野 誠也	815-8555	福岡市南区大楠3丁目1番地1号 福岡市早良区西新2丁目21-8西新パークホームズ901	092-521-1211	seijet@com.home.ne.jp	H18
山道 忍	854-8501	鎌早総合病院0957-22-1380 長崎市上浦町112	095-849-7200 095-841-0756	bwspon147@ybb.ne.jp	H18

大場 修治	901-0417	沖縄県島尻郡八重瀬町宇外間80:南部徳州会病院	098-998-0062	s301027@hotmail.co.jp	H19
	901-1117	沖縄県島尻郡南風原町津嘉山809-6東宝建設ビル7403号室			
孝田 洋之	653-0013	神戸市長田区一番町2丁目4番地:神戸市医療センター西市民病院	078-576-5251		
	652-0803	神戸市兵庫区大開通5丁目2-33-202	090-5285-5253	inazawachainsaw1982@yahoo.co.jp	H19
末下 雅也					
	852-8116	島原市湊町87	090-9599-0007	apple47@themis.ocn.ne.jp	H19
西山 光郎	751-8501	下関市後田1丁目1番1号	0832-22-6216		
	751-0823	下関市貴船町3丁目16-43光が丘ハイムB207			H19
原口 雅史	857-8511	長崎県佐世保市平瀬町9番地3:佐世保市立総合病院	0956-24-1515	n-h.b219d.crob.ca9647r.scm@hotmail.co.jp	H19
	857-0832	長崎県佐世保市藤原町7-37医師公會104	0956-34-1323		
松浦 良樹	891-0141	鹿児島市谷山中央5丁目20番10号:鹿児島生協病院	099-267-1455	hrz0712@hotmail.com	H19

長崎大学医学部漕艇部OB会役員名簿

氏名	勤務先		勤務先電話番号		役職 備考
	自宅	勤務先住所	自宅	勤務先住所	
須山 弘文	850-0803	玉木女子短大:長崎市風頭1-13	095-822-8694		顧問
	852-8065	長崎市横尾二丁目4-5	095-856-1321		全法医学教授
尾崎 正若	861-1102	熊本県菊池郡西合志町須屋2740-30	096-242-2761		顧問 前第二薬理教授
山口 三次	852-8145	長崎市昭和町二丁目5-14	095-844-5272		顧問 前ボート協会会長
吉田 恒雄	850-0811	長崎市矢の平町2-19-26	095-825-4979		顧問 県ボート協会会長
井上 健一郎	850-0045	井上病院:長崎市宝町8-9	095-844-1281		事務局担当
	852-8102	長崎市坂本町一丁目2-5	095-846-2218		
西條 知晃	852-8502	長大付属病院第2内科:長崎市坂本1丁目7-1	095-819-7375		会計
	852-8116	長崎市平和町20-16エソジエルコート白川201	090-6890-8750		

長崎大学医学部漕艇部OB会賛助会員名簿

氏名	自宅	自宅電話番号	備考・卒業年度
井上 満治	852-8052 長崎市岩屋町17-1	095-856-2711	開業・S19
方伯部 貢	852-8132 長崎市扇町2-22	095-844-3034	開業・S37
佐藤 安雄	850-0901 長崎市本石灰町5-11	095-822-0321	開業・日大
鈴谷 悦堂	852-8033 長崎市緑ヶ丘町1-4	095-846-2052	開業・S19
高木 聡一郎	850-0801 長崎市八幡町4-18	095-824-0590	開業・S20
石橋 盟士	852-8155 長崎市中園町22-17	095-845-6181	開業・S30
大須賀 浩	852-8002 長崎市弁天町17-1	095-861-3576	開業・S30

長崎大学医学部漕艇部現役部員名簿

履修番号	学籍番号	氏名	ふりがな	出身校	身長	体重	生年月日
304014	20413014	梅田 雅孝	うめだ まさたか	佐賀西	170	66	昭和59年8月7日
304032	20413032	古賀 俊充	こが としみつ	多治見北	178	65	昭和59年12月12日
304108	20413108	友延 寛	ともので ひろし	福岡大学附属大濠	170	64	昭和59年11月24日
304117	20413117	濱口 陽	はまぐち よう	長崎北	172	65	昭和52年2月16日
304125	20413125	松岡 若利	まつおか わかと	ラ・サール	167	52	昭和60年1月7日
305012	20513012	岩津 伸一	いわつ しんいち	青雲	177	65	昭和58年8月5日
305013	20513013	上木 智博	うえき ともひろ	池田	167	63	昭和60年9月18日
305020	20513020	大橋 和明	おおはし かずあき	小倉	172	68	昭和60年2月12日
305041	20513041	三反田拓志	さんたんた たくし	池田	176	67	昭和60年11月7日
305123	20513123	中原 知之	なかはら ともゆき	開邦	174	71	昭和57年1月31日
306015	20613015	北村 健二	きたむら けんじ	佐賀西	168	62	昭和59年4月12日
306114	20613114	東 祥嗣	ひがし よしつぐ	青雲	173	60	昭和61年4月15日
306119	20613119	藤田 拓郎	ふじた たくろう	長崎北陽台	171	67	昭和55年4月30日
306127	20613127	松浪 周平	まつなみ しゅうへい	小倉	173	66	昭和62年9月12日
307024	20713024	川口祐太郎	かわぐち ゆうたろう	田川	175	65	昭和63年7月27日
307038	20713038	陣野 太陽	じんの たいよう	長崎西	169	60	昭和61年5月21日
307132	20713132	水野 貴基	みずの たかのり	春日部	180	70	昭和57年10月4日
308014	20813014	大井隆之介	おおい りゅうのすけ	長崎北陽台	174	62	昭和62年10月8日
308019	20813019	粕谷 泰祐	かすや たいすけ	明和	175	74	昭和62年6月23日
308028	20813028	上瀧 善邦	こうたき よしくに	明膳	176	64	昭和63年12月16日
308108	20813108	丹下 寛也	たんげ ひろや	愛光	171	53	平成元年11月29日
308114	20813114	朝野 寛規	とも の ひろみ	久留米附設	173	64	昭和62年6月1日
308134	20813134	三瀬 正秀	みつま まさひで	福岡嘉穂	170	56	昭和63年7月23日
309024	20913024	嶋打 周	かもうち あまね	ラ・サール	165	56	昭和63年3月7日
309026	20913026	菊田 龍	きくた りゅう	穎明館	180	84	昭和63年12月6日
309047	20913047	竹田 一博	たけだ かずひろ	甲陽	164	61	平成2年11月25日
309101	20913101	田尻 昌士	たじり まさし	福岡大学附属大濠	176	85	平成2年10月27日

氏名	住所	携帯	メールアドレス (携帯)	帰省先電話	メールアドレス (自宅)
梅田 雅孝	坂本町8-10ハイツ翼II 202号室	090-7388-2910	tears.will.be.force@docomo.ne.jp	0952-82-3397	
古賀 俊充	西彼杵郡時津町西時津郷456-1TOWAMI2 201号室	090-2777-0160	socom.sas1212@docomo.ne.jp	0572-25-4751	
友延 寛	平野町23-9フアリーダム平野601号室	090-2964-7335	hirro1124@q.vodafone.ne.jp	092-731-1108	crew-crew@ngsl.cnm.ne.jp
濱口 陽	油木町34-5	090-9594-6219	hamahama0216@docomo.ne.jp	095-843-6396	nusmb790@yahoo.co.jp
松岡 若利	本尾町9-10-103	090-5725-8729	wakato-maxtun@docomo.ne.jp	092-541-2572	wakatomaxtun564@hotmail.com
岩津 伸一	坂本一丁目3-3来夢館105号室	090-7448-4206	s.iwatsu.1983.08.05@docomo.ne.jp	0956-32-3959	jgpbg896@bb.ne.jp
上木 智博	坂本一丁目10-13ラテラットメゾンIII 206号室	090-2501-9041	weapon-weapon.210918@docomo.ne.jp	099-282-5418	gartempflanze_ar@nxa.cnm.ne.jp
大橋 和明	坂本一丁目10-10ライ・プロゼルス坂本201号室	090-5928-4023	ling_dome2ne440zei-~to_7ppa.3@docomo.ne.jp	093-581-1165	
三反田拓志	坂本一丁目10-13ラテラットメゾンIII 204号室	090-9799-6855	tand-san@ezweb.ne.jp	0996-62-0211	satuki_3@hotmail.com
中原 知之	坂本二丁目8-10 ハイツ翼II 103号号室	090-1948-9392	tom.0131@ezweb.ne.jp	098-887-2617	from_tom_0131@hotmail.com
北村 健二	目覚町18-2 ヴークアベニユ-303	090-8227-1239	k.health-second0412@ezweb.ne.jp	0952-47-2818	k.health-second@ngsl.cnm.ne.jp
東 祥嗣	長崎市西海町1765-338	080-5256-9141	wishingfor.theday0415@ezweb.ne.jp	095-884-0166	
藤田 拓郎	西彼杵郡長与町三根郷53-28	090-9656-2234	flowershop-fuzitaku-55960430@q.vodafone.ne.jp	095-887-1185	
松浪 周平	扇町20-7井上ハイツ 202	090-8288-9360	jack-pot.49010.xxx-@ezweb.ne.jp	093-962-4292	
川口祐太郎	長崎市平野町22-23	080-5245-7727	urutoraman_777@ezweb.ne.jp	094-732-2766	
陣野 太陽	西彼杵郡長与町三根郷520-112	090-9484-1020	jinp@i.softbank.jp	095-883-4632	
水野 貴基	長崎市平和町14-15平和34坪田ビル 403	080-1061-5404	tarrao-ikura.0429@docomo.ne.jp	048-058-2413	
大井隆之介	長崎市滑石1丁目9-7	080-5241-9180	the-12st-victorist77@ezweb.ne.jp		
粕谷 泰祐	長崎市高尾町18-5プラザー高尾406号	090-4468-9643	pride-passion-respect-135432@ezweb.ne.jp		
上瀧 善邦	長崎市坂本1丁目8-30 ハイパレー 1 410号	080-5245-4492	az_u-re.m-o-n.44c192@ezweb.ne.jp		
丹下 寛也	長崎市上野町20-19 パティオa403号	090-7140-0367	yo-siyosiyosiyosi@docomo.ne.jp		
朝野 寛規	西彼杵郡長与町吉無田郷1163-29	080-1717-3100	s62n6g1n-sa-7617@docomo.ne.jp		
三瀨 正秀	長崎市本尾町1-55 シヤル夢本尾II 206号	090-5026-2465	gu-tara_sherry0723@docomo.ne.jp		
嶋打 周	長崎市平野町23-1 k.s平野町401号	090-1368-3235	glimmer37@q.vodafone.ne.jp		
菊田 龍	長崎市平野町23番1号k.s平野町406号	090-7812-6469	ryu-tennis.love@docomo.ne.jp		
竹田 一博	長崎市坂本町1-2-7-105	080-6137-4867	p-o-oh@ezweb.ne.jp		
田尻 昌士	長崎市坂本町1-9-3桜ハウス205号	080-5219-0804	hataesontyou@ezweb.ne.jp		

人を見つめる。生きるものを見つめる。

何よりも、いのちを大切に思う存在でありたい、そう思うのです。
私たちは、バイオテクノロジーという分野で、医薬品の研究開発に
取り組み、いのちを見つめてきました。だからこそ、抗体医薬を
はじめとする世界が待ち望む新薬を他にはないスピードで届け
られると信じています。

これからも、がん・腎・免疫疾患を中心とした領域で、世界中の
かけがえのないいのちに貢献できる「グローバル・スペシャリティ
ファーマ」をめざして。

バイオの力で、薬の可能性を広げていく。
私たちは、「協和発酵キリン」です。

KYOWA KIRIN

協和発酵キリン株式会社
www.kyowa-kirin.co.jp



Global

世界の最先端技術をもとに日本でも
医薬品開発に努め実績を築いていきます。

医療の「A」から「Z」まで。 **AstraZeneca**
アストラゼネカ株式会社



骨粗鬆症治療薬

フォサマック錠 35mg

Fosamac® Tablets 35mg

アレンドロン酸ナトリウム 水和物 錠

劇薬・処方せん医薬品・注意—医師等の処方せんにより使用すること

〈薬価基準収載〉

【禁忌】、【効能・効果】、【用法・用量】、【使用上の注意】等については、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 [資料請求先]

万有製薬株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
ホームページ <http://www.banyu.co.jp/>

Registered trademark of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A. 2008年7月作成 07-13-FSM-08-J-A09-J

家族の
気持ちで
薬づくりを
考える。



大日本住友製薬

www.ds-pharma.co.jp



持続性アンジオテンシンII受容体拮抗剤
処方せん医薬品^{※1}

薬価基準収載

ブロプレス[®]錠^{2.4}_{8.12}

(一般名: カンデサルタン シレキセチル錠)

持続性アンジオテンシンII受容体拮抗薬 / 利尿薬配合剤
処方せん医薬品^{※2}

薬価基準収載

新発売

エカード[®]配合錠HD

(一般名: カンデサルタン シレキセチル/ヒドロクロロチアジド配合錠)

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること
効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

[資料請求先]

武田薬品工業株式会社

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号
<http://www.takeda.co.jp/>

(0910)T



シオノギ製薬

本社 : 〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号 電話 06-6202-2161

あなたに笑顔を



それが
私たちの願いです。



科研製薬株式会社

<http://www.kaken.co.jp>

祝「漕魂」31号発行

宮 崎 温 仙 堂

東 七

藤 村 薬 品

ノバルティスファーマ株式会社

日 本 化 薬 株 式 会 社

九 州 東 邦

長崎大学医学漕艇部 公式ホームページ

since 2000

http://www.geocities.jp/rowing_choudai/

～ Yahoo で「長崎大学医学漕艇部」で検索できます～

ボート競技と部の紹介、部のイベント、試合の記録などを写真と一緒に載せています。OB専用掲示板もありますので卒業生同士の連絡にもご利用ください。

OB 専用掲示板 URL



<http://6523.teacup.com/tauring/bbs>

編集後記

まず最初に、部誌を発行するにあたり寄稿を書いていただいた先生方をはじめ、多くのOBの先生方や関係者の方々にご迷惑をおかけしましたことを、この場をお借りしてお詫びさせていただきます。それと同時に協力感謝いたします。誠にありがとうございました。

部活の活動状況をOBの先生方に発信する場として部活のホームページが設けられてはいますが、この部誌「漕魂」でも少しでも多くの情報を届けられればと思っております。その点私の力が至らず、満足な内容となっていないかもしれませんが、部の活動内容や詳細な試合の状況、現役部員たちの言葉などをお読みになって、現在の漕艇部の状況を少しでも分かっていただき、今後ますますのご声援を頂ける、その助けになれば幸いです。

今後とも長崎大学医学部漕艇部をよろしくお願いいたします。

編集者代表 松浪 周平

名簿の内容を以下のように訂正します。

氏名 _____ 年卒

現住所 _____

勤務先 _____

～通信欄～

【お願い】

毎回、住所録の不備についての苦情を耳に致します。私どもといたしましてもできる限りの努力をしておりますが、特に若いドクターを中心として異動の多い季節に発行するという时期的な問題もあり必ずしも完璧を期し難いのが現状です。

つきましては、氏名・住所・電話番号・勤務先等に変更または誤りがございましたら、上記のハガキにて長崎大学医学部漕艇部まで御通知下さい。

また、通信欄には、ボート部に対する要望や、「漕魂」に対する感想など書いて頂ければ幸いです。